

第 5 章

地域別方針

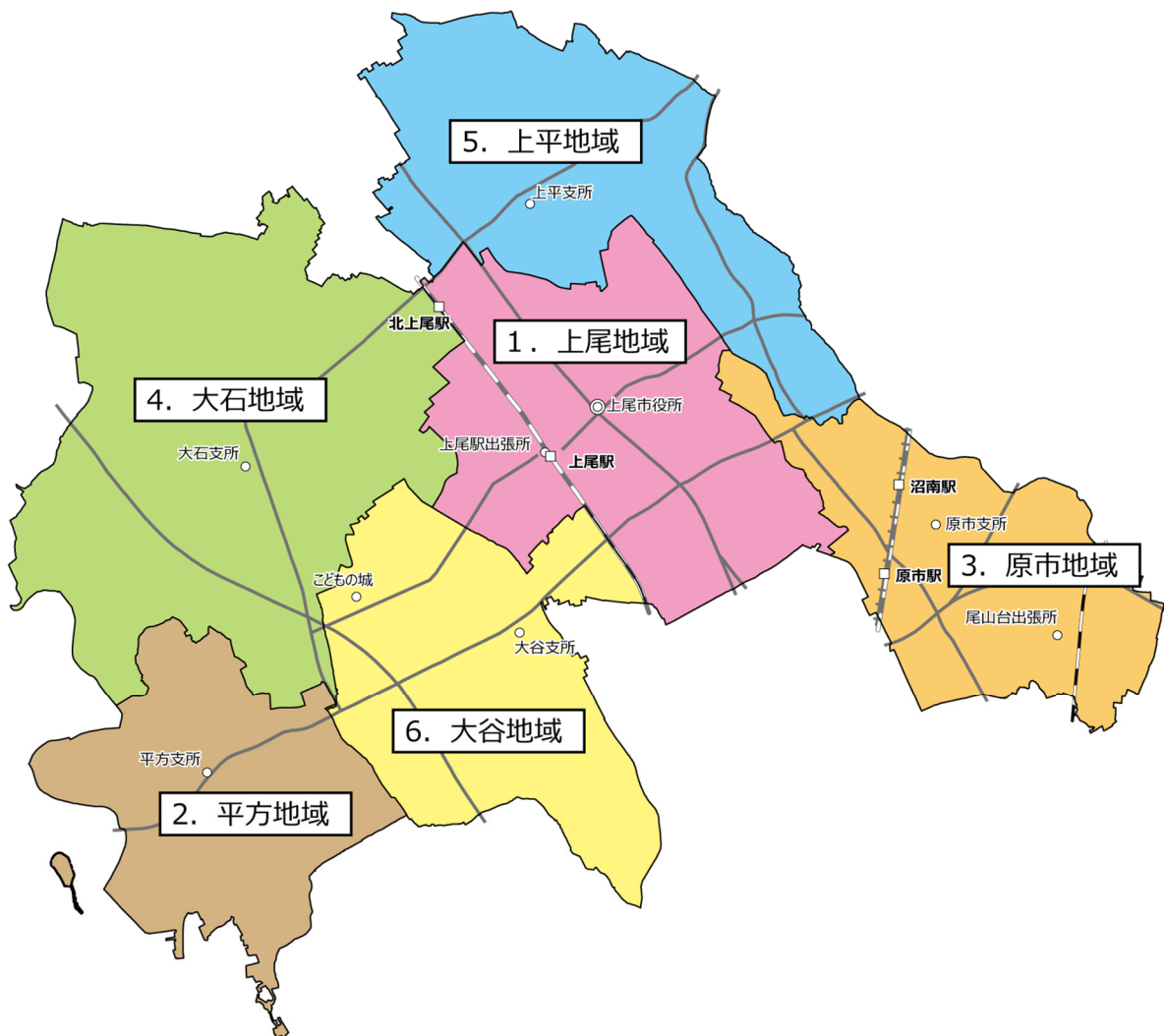
第5章 地域別方針

○ 地域区分の考え方

地域別方針は、市民に身近な地域単位で、分野別方針をもとに各地域の目指す将来像を実現するため、まちづくりの具体的な取り組み方針を示すものです。

本計画では、上尾市を6つの地域に区分し、それぞれの地域別に方針を示します。

図5-1 地域区分



※都市計画マスタープランの改定の参考とするため、「地区別市民検討会」及び「街づくり市民アンケート」を実施し、市民のみなさんが考える「地域の良い点・特色」と「地域の課題」を聞き取りました。その結果を「地域の声」として、「(2) 地域の声と課題」で掲載しています。
 ※地域別方針では、「地域の声」を活かしつつ、「地域の課題」の解決に向けた取り組みを位置づけることに配慮しました。

表5-1 地域と大字・町丁目の対応

地域区分	大字・町丁目
1. 上尾地域	緑丘一～五丁目、上町一・二丁目、宮本町、仲町一・二丁目、愛宕一～三丁目、栄町、日の出一～四丁目、東町一～三丁目、本町一～六丁目、春日一・二丁目、柏座一～四丁目、谷津一・二丁目、富士見一・二丁目、原新町、大字上尾宿、大字上尾村、二ツ宮、大字上尾下、根貝戸団地、上尾東団地、ソフィア上尾、パーク上尾、レック上尾、フィーリア上尾、エージオタウン、ビレッジハウス上尾向原
2. 平方地域	大字平方、大字上野、大字平方領々家、大字上野本郷、大字西貝塚
3. 原市地域	大字原市、大字瓦葺、五番町、原市中一・三丁目、原市北一丁目、原市団地、尾山台団地
4. 大石地域	中妻一～五丁目、浅間台一～四丁目、弁財一・二丁目、井戸木一～四丁目、泉台一～三丁目、大字小泉、小泉一～九丁目、中分一～六丁目、藤波一～四丁目、大字小敷谷、大字畔吉、大字領家、西上尾第一団地、西上尾第二団地
5. 上平地域	大字上、大字久保、大字西門前、大字南、大字菅谷、菅谷一～六丁目、須ヶ谷一～三丁目、大字平塚、平塚一・二丁目、錦町、上平中央一～三丁目、シラコバト団地
6. 大谷地域	大字地頭方、大字壺丁目、壺丁目東、壺丁目西、壺丁目南、壺丁目北、大字今泉、今泉一丁目、今泉四丁目、大字向山、向山一～五丁目、大字大谷本郷、大字堤崎、大字中新井、大字戸崎、大字川、川一・二丁目、西宮下一～四丁目

表5-2 各種データの出典

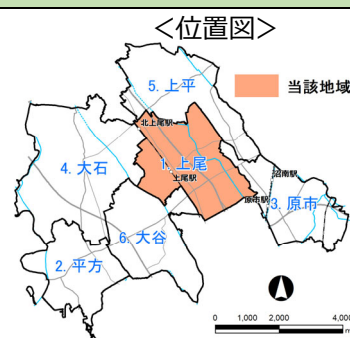
地域の特性の項目	出典等
地域面積	事務区 GIS データ（令和元年 11 月 1 日時点）をもとに地域区分図を作成し、GIS で面積計測。※各地域の合計が市全体面積と整合するように調整した値。
市街化区域	都市計画 GIS データ（令和元年 11 月 1 日時点）により面積計測。 ※都市計画決定面積と整合するように調整した値。
人口・世帯数	平成 27 年国勢調査（小地域） ※小地域の複数の地域にまたがる場合は、含まれる面積の最も大きい地域で集計。
土地利用	平成 28 年度都市計画基礎調査・土地利用現況 GIS データ
主な地域資源	庁内資料などから選択抽出
交通	交通事業者ホームページ（令和元年 11 月 1 日時点）
住環境の満足度と今後の取り組みの優先度	平成 30 年度上尾市市民意識調査 問 3（1）、問 3（2） ○満足度：項目毎に、満足及びやや満足の回答を 1 点、不満及びやや不満の回答を -1 点として集計し、項目の回答数で除して算出 ○優先度：項目毎の回答数を、回答数合計で除して算出

1. 上尾地域

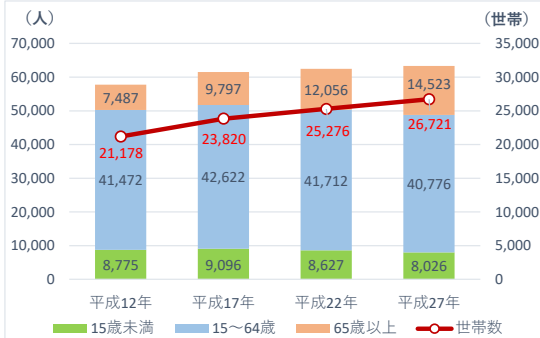
(1) 地域の特性

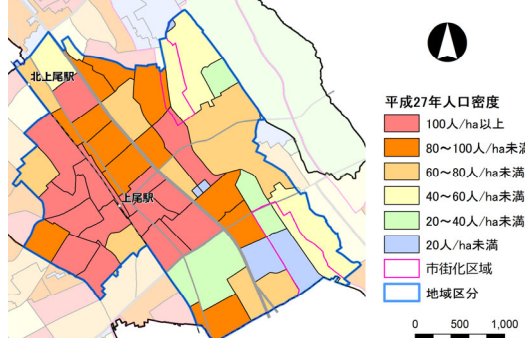
項目	現 状	
地域の概況	<p>市の中央に位置し、地域南端でさいたま市と接しています。地域内に JR 高崎線の上尾駅、北上尾駅が位置し、生活に関わる様々な施設が立地しています。地域内に芝川と鴨川が流れています。</p>	
	地域面積	779.4ha (17.1%)
	市街化区域	718.3ha (28.4%)
	人口	63,959人 (28.4%)
	世帯数	26,721世帯 (29.2%)
	人口密度	82.1人/ha

※左表の()内は市全体の数値に占める割合。
※左表の人口は、年齢不詳を含んだ人数。



人口・世帯数	推移	
	人口 (人)	世帯数 (世帯)
	<p>平成12年: 7,487 (15歳未満), 21,178 (15~64歳), 41,472 (65歳以上)</p>	<p>平成17年: 9,797 (15歳未満), 23,820 (15~64歳), 42,622 (65歳以上)</p>
	<p>平成22年: 12,056 (15歳未満), 25,276 (15~64歳), 41,712 (65歳以上)</p>	<p>平成27年: 14,523 (15歳未満), 26,721 (15~64歳), 40,776 (65歳以上)</p>





土地利用	割合	
	市全体	上尾地域
<p>住宅用地や商業用地、工業用地などの都市的土地利用の割合が市全体に比べて高くなっています。</p>	<p>農地: 16.9%, 山林: 3.8%, その他自然等地: 6.5%, 住宅用地: 31.4%, 商業用地: 4.5%, 工業用地: 6.6%, 公益施設用地: 5.5%, 公共空地等: 24.7%</p>	<p>農地: 5.3%, 山林: 1.1%, その他自然等地: 1.3%, 住宅用地: 40.7%, 商業用地: 8.9%, 工業用地: 6.8%, 公益施設用地: 6.9%, 公共空地等: 29.1%</p>

主な地域資源	公共公益施設	上尾市役所、上尾駅出張所、上尾市消防本部・上尾市東消防署、上尾市コミュニティセンター、上尾市文化センター、上尾公民館、上尾市図書館（本館）、図書館上尾駅前分館
	保健・福祉・医療施設	東保健センター、西保健センター、上尾中央総合病院、藤村病院、武蔵野病院、上尾市児童館アッピーランド
	大規模複合商業施設	P・A・P・A 上尾ショッピングアヴェニュー、上尾ショーサンブラザ、アリコバールまるひろ、イオンモール上尾
	歴史施設	氷川鍬神社、遍照院、放光院、日乗院、氷川神社
	大規模公園・運動施設	上尾運動公園、さいたま水上公園、埼玉アイスアリーナ、県立スポーツ研修センター、県立武道館

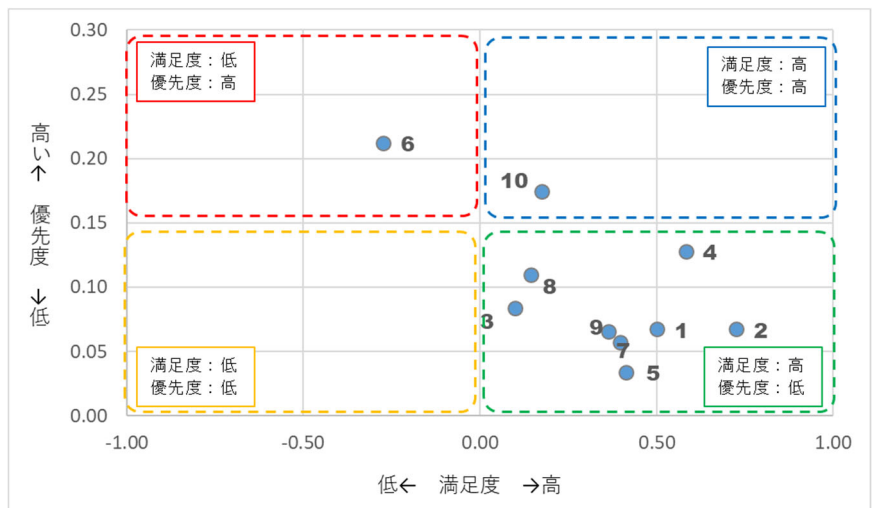
交通	鉄 道	JR 高崎線：上尾駅、北上尾駅
	バ ス	東武バスウエスト、朝日自動車、けんちゃんバス、ぐるっとくん
	主要幹線道路	国道17号、中山道、県道上尾蓮田線、県道上尾環状線

(2) 地域の声と課題

区分	地域の声	地域づくりの課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○駅に近く、生活に必要な施設が集まっていて、徒歩で利用できるので便利です。 ○駅周辺にシンボルとなるような施設がなく、市の顔になっていないのが残念です。 ○商店街に活気が感じられなくなっていると思います。 ○色々な年齢層の人が住んでいますが、コミュニティ意識が希薄化している気がします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活関連サービス施設の集積や交通結節点としての機能を活かした利便性の向上 ●市の中心にふさわしい市街地の形成 ●多様な世代で構成される新たなコミュニティの構築と居住の誘導
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ○交通量が多いのに道幅が狭い。 ○抜け道になっていて、大型車が生活道路に入ってきて危ない。 ○身近な道路は歩く空間が狭くて危険だと思う。 ○上尾運動公園などの大きな公園が近くにあり、緑や畑も適度に残っていて良いです。 ○鴨川の水辺の利用や、子どもが遊べる身近な公園がもっとあったらいいのに。 ○高齢化が進んでいて、空き家が増えている感じがします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●幹線道路の整備 ●生活道路の安全性の向上 ●身近な公園の整備 ●高齢者などが移動しやすい市街地環境の形成 ●大規模公園や水辺空間を活かした地域の魅力の向上
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道が通っていて、都心へも便利に移動できます。 ○バスの運行本数が少なくて不便な場所があります。 ○駅に行くバスが走っていないなど、交通手段が少ない地域があります。 ○行きたい施設の近くを通るバス路線がなくて残念です。 ○放置自転車や自転車利用時の交通マナーが悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●駅と地域を連絡する公共交通の利便性の向上 ●駅の交通結節点としての機能向上 ●自転車を利用しやすい環境整備
防災	<ul style="list-style-type: none"> ○豪雨の時に氾濫を心配することがあります。 ○狭い道路が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害に強い、安全で安心な市街地の形成

図5-2 住環境の満足度と今後の取り組みの優先度（上尾地域）

- 1 駅の周辺やまちなかのにぎわい
- 2 日常の買い物の利便性
- 3 雇用機会や働く場の充実
- 4 お住まいの周辺の雰囲気や治安の良さ
- 5 自然環境や田園風景の豊かさ
- 6 歩道などの歩行空間の安全性
- 7 幹線道路の利便性
- 8 バスなどの公共交通の利便性
- 9 公園や水辺・親水空間が良好に整備されている
- 10 自然災害などに対する十分な防災対策



出典：平成30年度上尾市市民意識調査

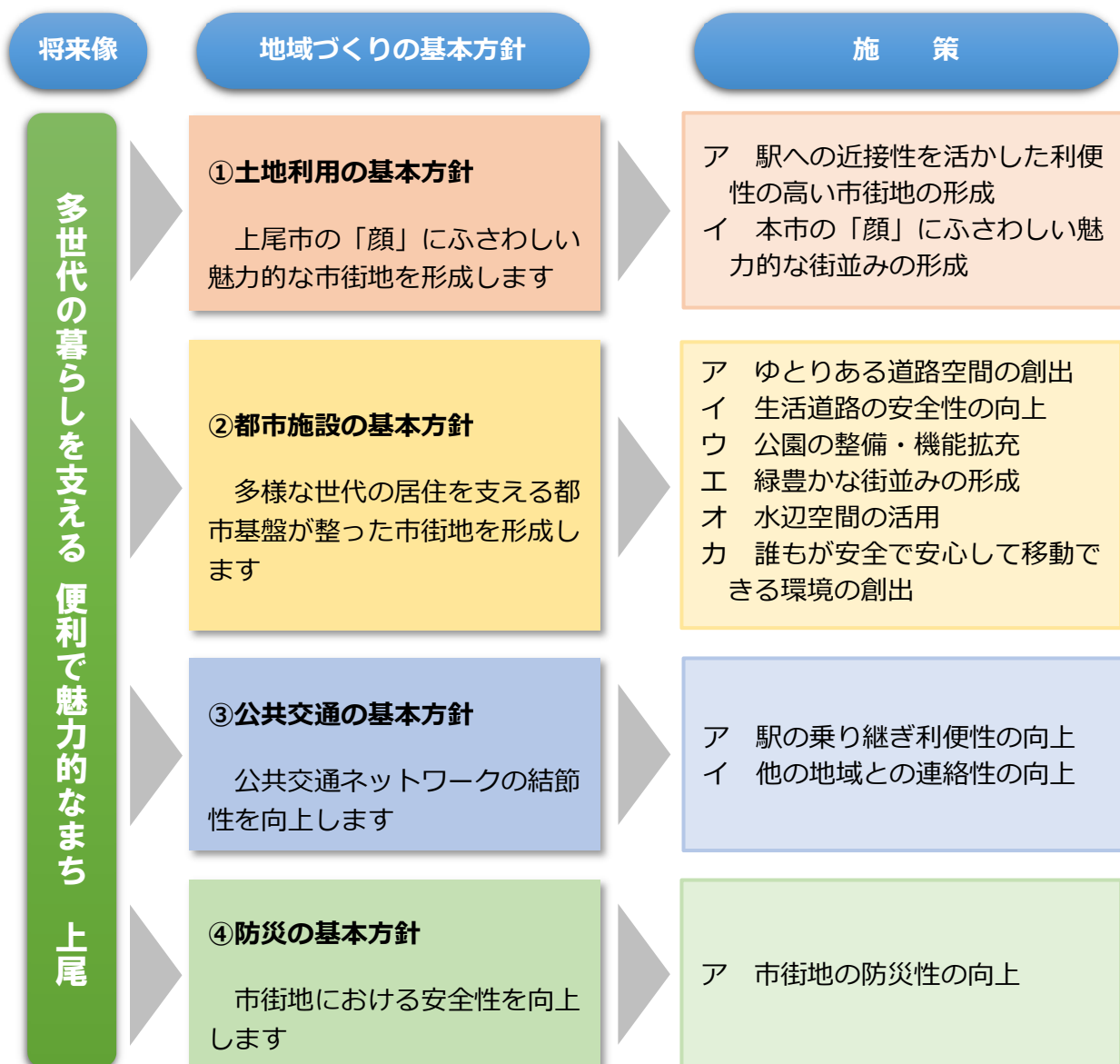
(3) 地域の将来像

多世代の暮らしを支える 便利で魅力的なまち 上尾

生活関連サービス施設の高い集積状況や高い交通利便性を活かし、拠点としての魅力の向上や多様な世代によってコミュニティが形成される暮らしやすいまちの創出を目指し、地域の将来像を『多世代の暮らしを支える 便利で魅力的なまち 上尾』とします。

また、地域の将来像を実現するための地域づくりの基本方針を設定します。これらの地域づくりの基本方針に基づき、施策を設定します。

■地域づくりの体系



第1章 計画の概要

第2章 上尾市の現況特性とまちづくりの課題

第3章 基本構想

第4章 分野別方針

第5章 地域別方針

第6章 計画の推進方針

資料編

(4) 実現するための施策

地域づくりの体系を受け、地域の将来像を実現するための施策を以下に示します。

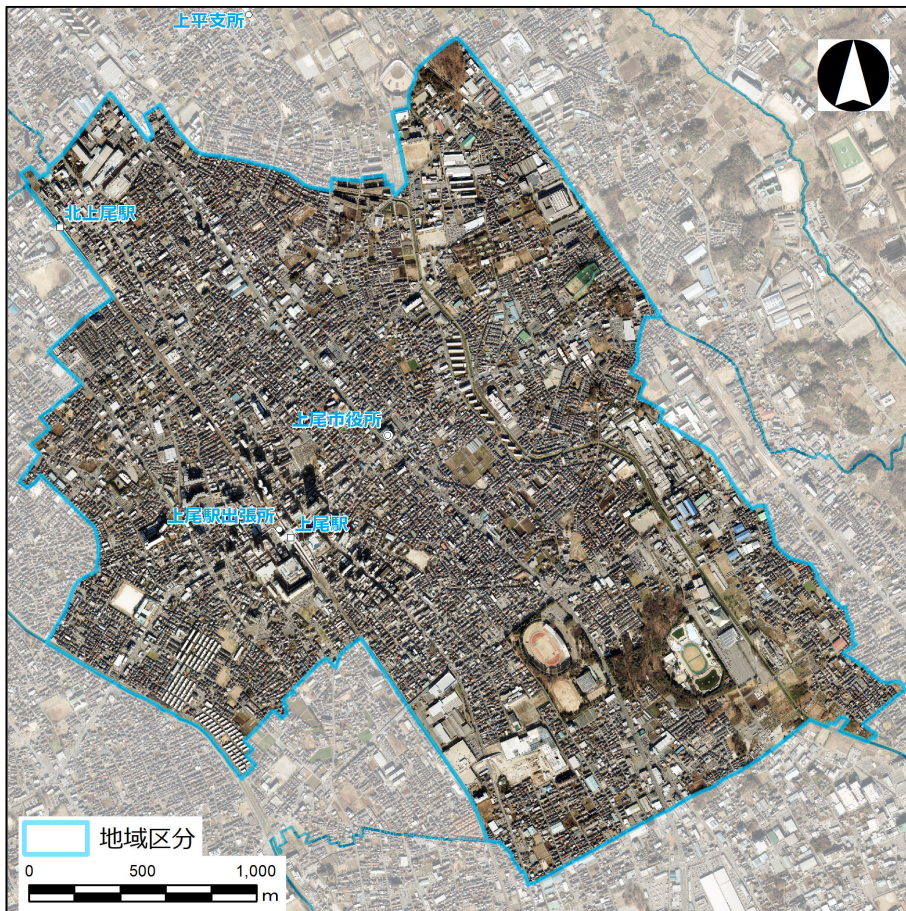
① 土地利用の方針	
施策	主な取り組み
駅への近接性を活かした 利便性の高い市街地の形 成 (①-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上尾駅周辺では、商業・業務、医療、文化、公共サービスなどの都市機能の維持・集積を図ります。 ■ 上尾駅周辺では、駅への近接性や様々な都市機能の立地による利便性の高さを活かし、良質な中高層集合住宅の集積を図ります。 ■ 北上尾駅周辺では、周辺住民や駅利用者の利便性を高める商業施設や医療施設、良質な集合住宅などの維持・集積を図ります。
本市の「顔」にふさわし い魅力的な街並みの形 成 (①-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上尾駅及び北上尾駅周辺の街並み形成推進地区については、地区計画制度などを活用したまちづくりを推進し、地区内の骨格道路や公園などの都市基盤整備を進めます。 ■ 上尾駅及び北上尾駅周辺の主要な道路の沿道では、事業者や地権者と連携し、歩行空間と公園・広場・民間空地等が一体となった、ゆとりと賑わいあふれる公共空間の創出を行います。

② 都市施設の方針	
施策	主な取り組み
ゆとりある道路空間の 創出 (②-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市計画道路西宮下中妻線及び仲町谷津線は、無電柱化による道路整備を推進します。 ■ 県道上尾蓮田線については、歩行者や自転車が安全に通行できる道路として環境改善を図ります。
生活道路の安全性の向 上 (②-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活道路については、狭あい道路の拡幅や隅切りの整備を進めます。 ■ 地域要望を踏まえながら、交通安全対策を進めます。 ■ 上尾駅周辺においては、市民や事業者と連携し、歩行者・自転車の回遊性向上を目的としたゆとりある道路空間の創出を進めます。
公園の整備・機能拡充 (②-ウ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ さいたま水上公園は、プール跡地の活用など、機能拡充を関係機関に要請します。 ■ 公園等が不足する地区では、子供が身近で遊べる空間、子育て層を中心としたコミュニティ醸成の場となる身近なオープンスペースの確保に努めます。
緑豊かな街並みの形成 (②-エ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市街地再開発事業や共同建替えなどに併せ、公園・オープンスペースの確保や屋上緑化を促進します。
水辺空間の活用 (②-オ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鴨川及び芝川の水辺空間は、沿岸の歩行空間の適切な維持管理を進めます。

施策	主な取り組み
誰もが安全で安心して移動できる環境の創出 (②-カ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 駅から上尾中央総合病院や上尾市コミュニティセンターなどの福祉施設等へと続く道路については、バリアフリー法に基づく特定道路として、バリアフリー化を推進します。

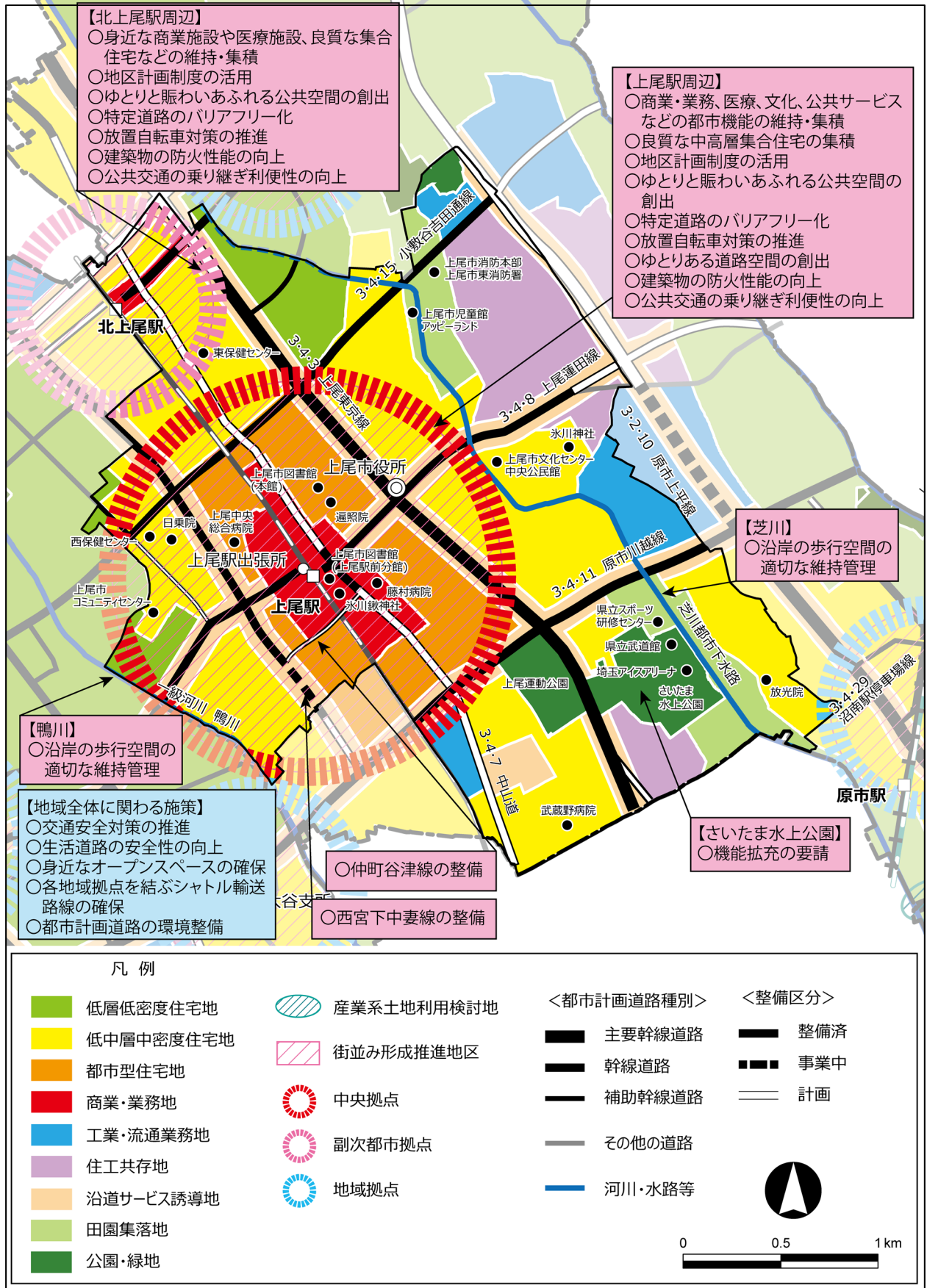
③ 公共交通の方針	
施策	主な取り組み
駅の乗り継ぎ利便性の向上 (③-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上尾駅における乗り継ぎ利便性と乗り継ぎ環境の向上を図ります。 ■ 上尾駅及び北上尾駅周辺では、放置自転車対策を推進します。
他の地域との連絡性の向上 (③-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各地域拠点と上尾駅または北上尾駅を結ぶシャトル輸送の路線を確保します。

④ 防災の方針	
施策	主な取り組み
市街地の防災性の向上 (④-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上尾駅及び北上尾駅周辺では、建築物の防火性能が向上するよう、防火地域または準防火地域の指定を進めます。 ■ 生活道路では、ブロック塀の生垣化を促進します。



<上尾市 航空写真>
(令和2年1月撮影)

図5-3 上尾地域のまちづくり方針図



2. 平方地域

(1) 地域の特性

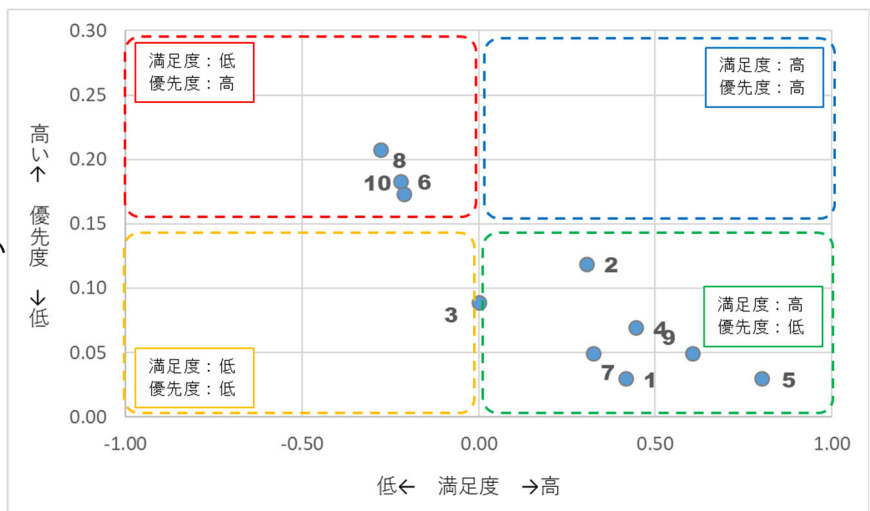
項目	現 状	
地域の概況	<p>市域の南西部に位置し、さいたま市、川越市、川島町に接しています。地域の西側に荒川が流れています。上尾丸山公園などの大規模な公園・運動施設が立地しています。</p>	
	地域面積	562.3ha (12.3%)
	市街化区域	48.2ha (1.9%)
	人口	8,920人 (4.0%)
	世帯数	3,189世帯 (3.5%)
	人口密度	15.9人/ha
		<p><位置図></p> <p>※左表の()内は市全体の数値に占める割合。 ※左表の人口は、年齢不詳を含んだ人数。</p>
人口・世帯数	<p><人口・世帯数の推移></p>	
	<p><人口密度図></p>	
土地利用	<p>自然的土地利用が全地域の中で最も割合が高く、特に農地の割合が高くなっています。住宅用地、商業用地、工業用地の割合は、全地域の中で最も低くなっています。</p>	
	<p><市全体></p> <p><平方地域></p>	<p>農地 16.9%</p> <p>山林 3.8%</p> <p>その他自然地等 6.5%</p> <p>住宅用地 31.4%</p> <p>商業用地 4.5%</p> <p>工業用地 6.6%</p> <p>公益施設用地 5.5%</p> <p>公共空地等 24.7%</p> <p>農地 27.4%</p> <p>山林 4.5%</p> <p>その他自然地等 15.3%</p> <p>住宅用地 18.4%</p> <p>商業用地 1.6%</p> <p>工業用地 6.9%</p> <p>公益施設用地 5.0%</p> <p>公共空地等 20.9%</p>
主な地域資源	公共公益施設	平方支所、上尾市西消防署平方分署、図書館平方分館、図書館たちばな分館、平方公民館、健康プラザわくわくランド、西貝塚環境センター
	保健・福祉・医療施設	埼玉県総合リハビリテーションセンター、特別養護老人ホームあけぼの、特別養護老人ホーム新生ホーム、特別養護老人ホームご福あげお
	大規模複合商業施設	-
	歴史施設	馬蹄寺、橘神社、八枝神社、清真寺
	大規模公園・運動施設	上尾丸山公園、平方スポーツ広場、平方野球場、三ツ又沼ビオトープ、リバーサイドフェニックスゴルフクラブ
交通	鉄道	-
	バス	東武バスウエスト、ぐるっとくん
	主要幹線道路	主要地方道川越上尾線、主要地方道さいたま鴻巣線、県道上野さいたま線

(2) 地域の声と課題

区分	地域の声	地域づくりの課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○近くにお店がないので買物がちょっと不便に感じます。 ○高さの低い建物が中心で、のどかな感じがする住環境がお気に入りです。 ○地域コミュニティがしっかりしていて、色々な行事が活発に行われているところが良いと思います。 ○人口が減少していて、空き家が増えているように感じます。 ○子どもが少なくなっていて、将来も地域のコミュニティが維持できるのか心配です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●平方支所などを中心とした拠点性の向上 ●買い物など日常的な生活で利用する施設の集積促進 ●のどかな居住環境の維持 ●空き家や空き地の解消 ●多様な世代で構成されるコミュニティの構築
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な道路が狭く、歩道や自転車が通行できるスペースが少ないので、安全面で心配です。 ○丸山公園など、遊ぶ場所が多く、四季折々の自然が楽しめることも特徴と思います。 ○果樹園などの農地が広がっていて、なつかしい感じのする田園風景が地域の魅力ではないでしょうか。 ○雑木林がなくなりつつあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活道路の安全性の向上 ●荒川や上尾中堀川、三ツ又沼などの水辺環境の保全・活用 ●田園風景の保全 ●馬蹄寺や河岸跡などの歴史的資源の保全
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○駅に出るバスが結構出ているので便利です。 ○最寄りの駅まで少し距離があるので、移動手段がもっと充実されるといいのに。 	<ul style="list-style-type: none"> ●駅と地域を連絡する公共交通の利便性の向上 ●移動手段の充実
防災	<ul style="list-style-type: none"> ○大雨での川の増水による被害が心配です。 ○身近な道路が狭いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水害の予防、被害の軽減

図5-4 住環境の満足度と今後の取り組みの優先度（平方地域）

- 1 駅の周辺やまちなかのにぎわい
- 2 日常の買い物の利便性
- 3 雇用機会や働く場の充実
- 4 お住まいの周辺の雰囲気や治安の良さ
- 5 自然環境や田園風景の豊かさ
- 6 歩道などの歩行空間の安全性
- 7 幹線道路の利便性
- 8 バスなどの公共交通の利便性
- 9 公園や水辺・親水空間が良好に整備されている
- 10 自然災害などに対する十分な防災対策



出典：平成30年度上尾市市民意識調査

第1章 計画の概要

第2章 上尾市の現状特性とまちづくりの課題

第3章 基本構想

第4章 分野別方針

第5章 地域別方針

第6章 計画の推進方針

資料編

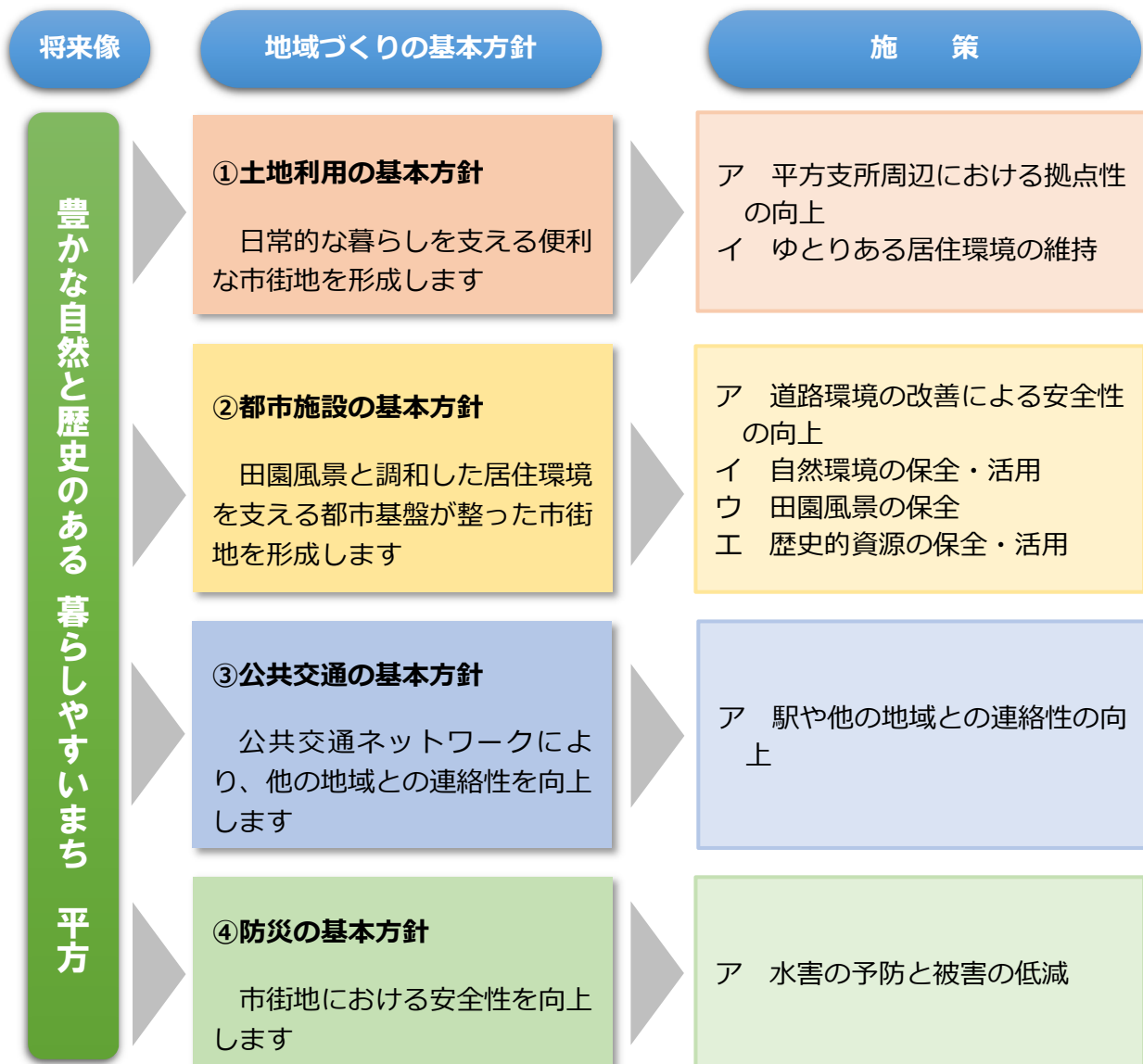
(3) 地域の将来像

豊かな自然と歴史のある 暮らしやすいまち 平方

荒川や三ツ又沼ビオトープなどの水辺やのどかな田園風景、河岸町として栄えた歴史文化を活かしながら、ふるさととして愛着の感じられる、便利で暮らしやすいまちの形成を目指し、地域の将来像を『**豊かな自然と歴史のある 暮らしやすいまち 平方**』とします。

また、地域の将来像を実現するための地域づくりの基本方針を設定します。これらの地域づくりの基本方針に基づき、施策を設定します。

■ 地域づくりの体系



(4) 実現するための施策

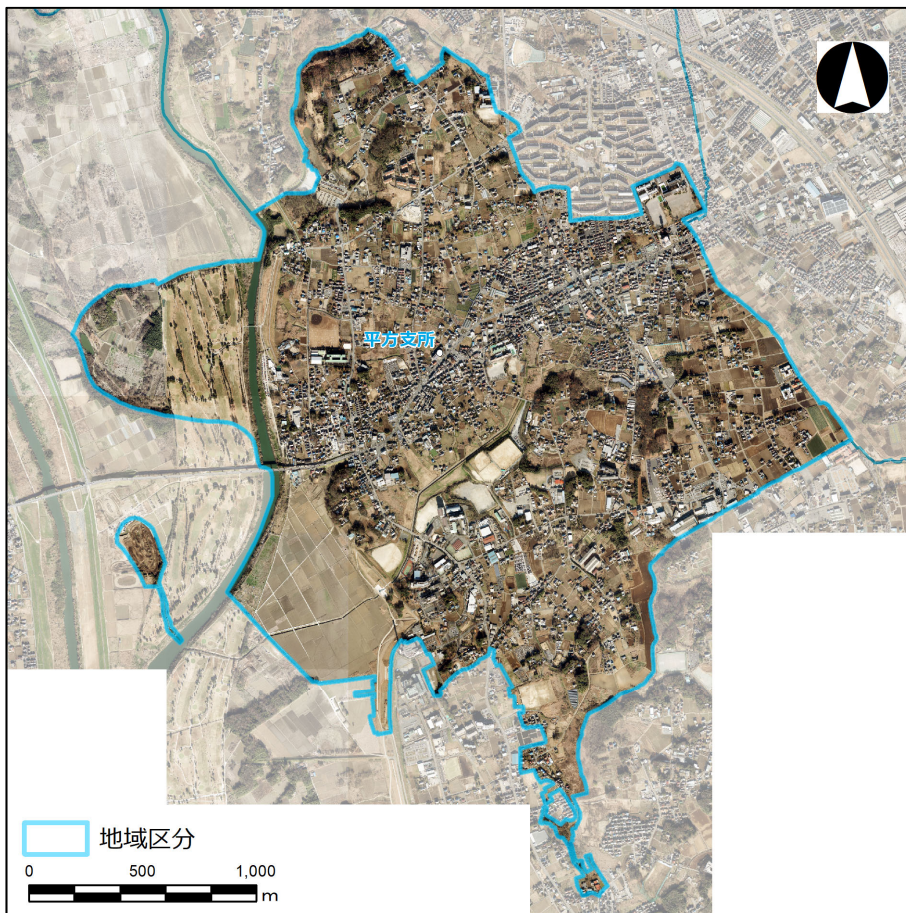
地域づくりの体系を受け、地域の将来像を実現するための施策を以下に示します。

① 土地利用の方針	
施策	主な取り組み
平方支所周辺における拠点性の向上 (①-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平方支所から旧街道周辺については、周辺住民の利便性を高める行政サービス施設や商業施設、医療施設などの維持・集積を図ります。
ゆとりある居住環境の維持 (①-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平方支所周辺の街並み形成推進地区については、地区計画などを活用した協働によるまちづくりを推進し、地区内の骨格道路や公園などの都市基盤整備を進めます。 ■ 空き家・空き地の適正管理と有効活用を促進します。

② 都市施設の方針	
施策	主な取り組み
道路環境の改善による安全性の向上 (②-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県道川越上尾線については、混雑解消のため、関係機関との調整を図ります。 ■ 地域要望を踏まえながら、交通安全対策を進めます。 ■ 生活道路については、狭あい道路の拡幅や隅切りの整備を進めます。 ■ ブロック塀の生垣化を促進します。
自然環境の保全・活用 (②-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上尾中堀川は、水質の浄化作用や生物生息空間づくりを視野に入れた多自然型護岸や回遊性向上のための散策路の整備を進めます。 ■ 国が管理する三ツ又沼周辺の湿地帯及びその河川敷は、生物が生息できる、うるおいのある水辺環境の保全に努めます。 ■ 上尾丸山公園は、良好な自然環境を保全し、市民が自然と触れ合える空間として環境整備を進めます。また、関係機関と連携しつつ適正に維持管理します。
田園風景の保全 (②-ウ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農地については、集落地や雑木林など一体となった良好な田園風景を構成する景観資源であり、また、農地として多面的な機能を有していることを踏まえ、保全に努めます。
歴史的資源の保全・活用 (②-エ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 馬蹄寺や河岸跡などについては、周辺を含めた環境整備や回遊性を高める歩行空間の確保などを検討します。

③ 公共交通の方針	
施策	主な取り組み
駅や他の地域との連絡性の向上 (③-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平方支所周辺については、上尾駅と本地域を結ぶシャトル輸送や地域内を巡回するエリアコミュニティ輸送などの拠点として、交通の結節性を高めます。 ■ サイクル&バスライドを推進するため、自転車アクセスに対応した通行環境や駐輪場などの整備を図ります。

④ 防災の方針	
施策	主な取り組み
水害の予防と被害の軽減 (④-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 荒川の堤防や調節池の整備などによる荒川や支流の治水安全性の向上について、関係機関に要望していきます。 ■ 浸水災害のリスクのある区域における土地利用や建築立地のあり方を検討していきます。



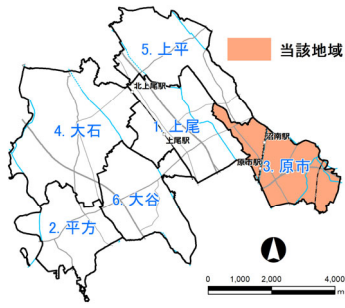
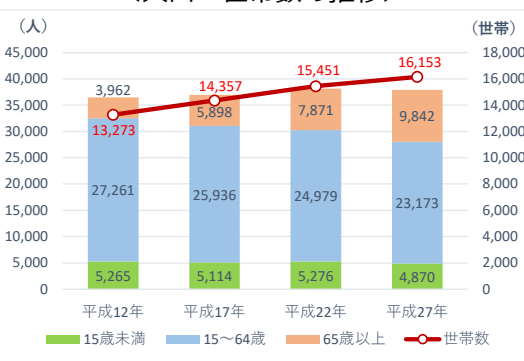
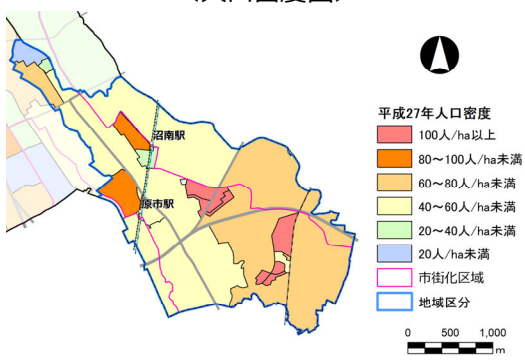
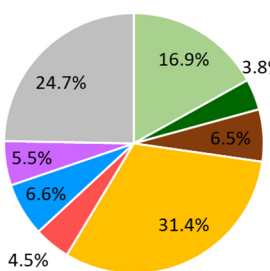
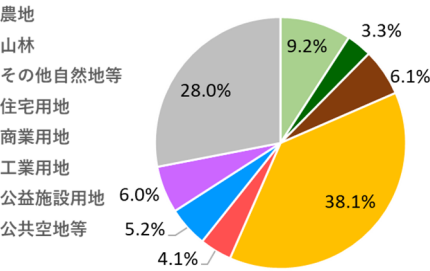
<上尾市 航空写真>
(令和2年1月撮影)

図5-5 平方地域のまちづくり方針図



3. 原市地域

(1) 地域の特性

項目	現 状	
地域の概況	<p>市域の東部に位置し、さいたま市、蓮田市、伊奈町と接しています。埼玉新都市交通（ニューシャトル）の原市駅及び沼南駅が位置しています。地域内に原市沼川と見沼代用水路が流れています。</p>	
	地域面積	582.1ha (12.8%)
	市街化区域	391.5ha (15.5%)
	人口	38,258人 (17.0%)
	世帯数	16,153世帯 (17.7%)
	人口密度	65.7人/ha
		<p>＜位置図＞</p>  <p>※左表の（ ）内は市全体の数値に占める割合。 ※左表の人口は、年齢不詳を含んだ人数。</p>
人口・世帯数	<p>＜人口・世帯数の推移＞</p> 	
	<p>＜人口密度図＞</p> 	
土地利用	<p>住宅用地や商業用地、工業用地などの都市的土地利用が全地域の中で2番目に割合が高くなっています。伊奈町境の市街化調整区域などにまとまった農地が見られます。</p>	
	<p>＜市全体＞</p>  <p>＜原市地域＞</p> 	
主な地域資源	公共公益施設	原市支所、原市公民館、尾山台出張所、上尾市東消防署原市分署、図書館瓦葺分館、原市公民館図書室、上尾伊奈斎場つつじ苑、瓦葺ふれあい広場
	保健・福祉・医療施設	上尾メディカルクリニック、特別養護老人ホーム葺きの里
	大規模複合商業施設	—
	歴史施設	妙厳寺、相頓寺、宝蔵寺、楞厳寺、長久寺
	大規模公園・運動施設	原市ふるさとの緑の景観地
交通	鉄 道	埼玉新都市交通（ニューシャトル）：原市駅、沼南駅
	バ ス	東武バスウエスト、朝日自動車、けんちゃんバス、ぐるっとくん
	主要幹線道路	国道16号（東大宮バイパス）、主要地方道さいたま栗橋線、主要地方道さいたま菖蒲線（第二産業道路）

第1章 計画の概要

第2章 上尾市の現況特性とまちづくりの課題

第3章 基本構想

第4章 分野別方針

第5章 地域別方針

第6章 計画の推進方針

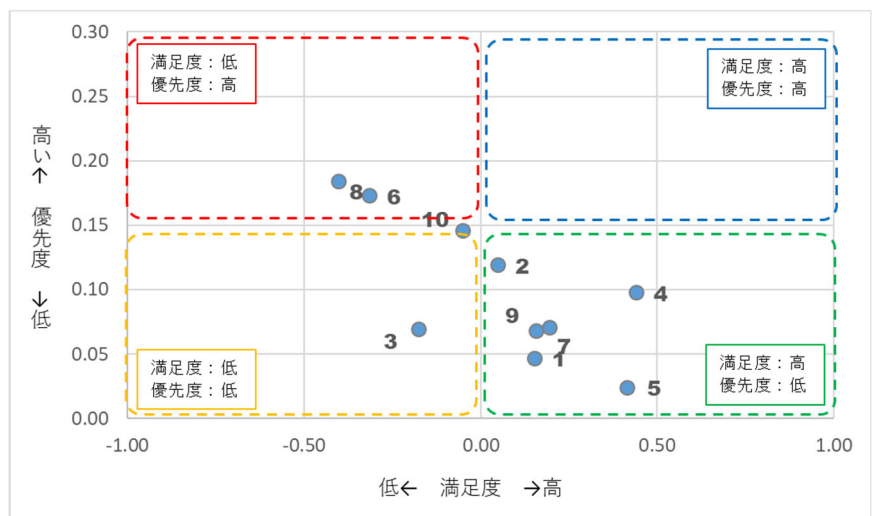
資料編

(2) 地域の声と課題

区分	地域の声	地域づくりの課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○支所や出張所が近くにあって、手続きなどの際にも便利です。 ○お店や飲食店が少なく、普段の買物や外食がちょっと不便に感じます。 ○閑静な住宅街で、住環境としては申し分ないと思います。 ○空地が点在しているので、もっと有効利用されるといいなあと思います。 ○地域を盛り上げようと住民の人が協力しあう土地柄ですが、年々高齢化が進んでいて、コミュニティ活動が停滞しないか心配。 	<ul style="list-style-type: none"> ●駅周辺を中心とした拠点性の向上 ●買物などの日常的に利用する施設の集積促進 ●落ち着いたある居住環境の維持 ●空き家や空き地の解消 ●多様な世代で構成されるコミュニティの構築 ●幹線道路沿道における土地利用調整
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ○公園が多く、みどりが多いです。 ○開発が進んで、緑が少なくなっているように感じます。 ○国道16号や産業道路などは、朝夕の交通渋滞がひどいので何とかして欲しいと思います。 ○道路が狭い上に、生活道路が抜け道になっていて、歩きや自転車に乗っているときに危ない思いをしたことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●良好な自然環境の保全 ●交通混雑の解消に向けた道路ネットワークの構築 ●生活道路の安全性の向上
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○駅が近く、交通の便が良いと思います。 ○上尾駅に出やすくなると、もっと便利になるのに。 	<ul style="list-style-type: none"> ●駅と地域を連絡する公共交通の利便性の向上
防災	<ul style="list-style-type: none"> ○道路が狭いです。 ○原市沼川が浸水し、伊奈町までの道が通行止めになると不便です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●狭あい道路の解消など、延焼リスクに対する防災性の強化 ●水害の予防、被害の軽減

図5-6 住環境の満足度と今後の取り組みの優先度（原市地域）

- 1 駅の周辺やまちなかのにぎわい
- 2 日常の買い物の利便性
- 3 雇用機会や働く場の充実
- 4 お住まいの周辺の雰囲気や治安の良さ
- 5 自然環境や田園風景の豊かさ
- 6 歩道などの歩行空間の安全性
- 7 幹線道路の利便性
- 8 バスなどの公共交通の利便性
- 9 公園や水辺・親水空間が良好に整備されている
- 10 自然災害などに対する十分な防災対策



出典：平成30年度上尾市市民意識調査

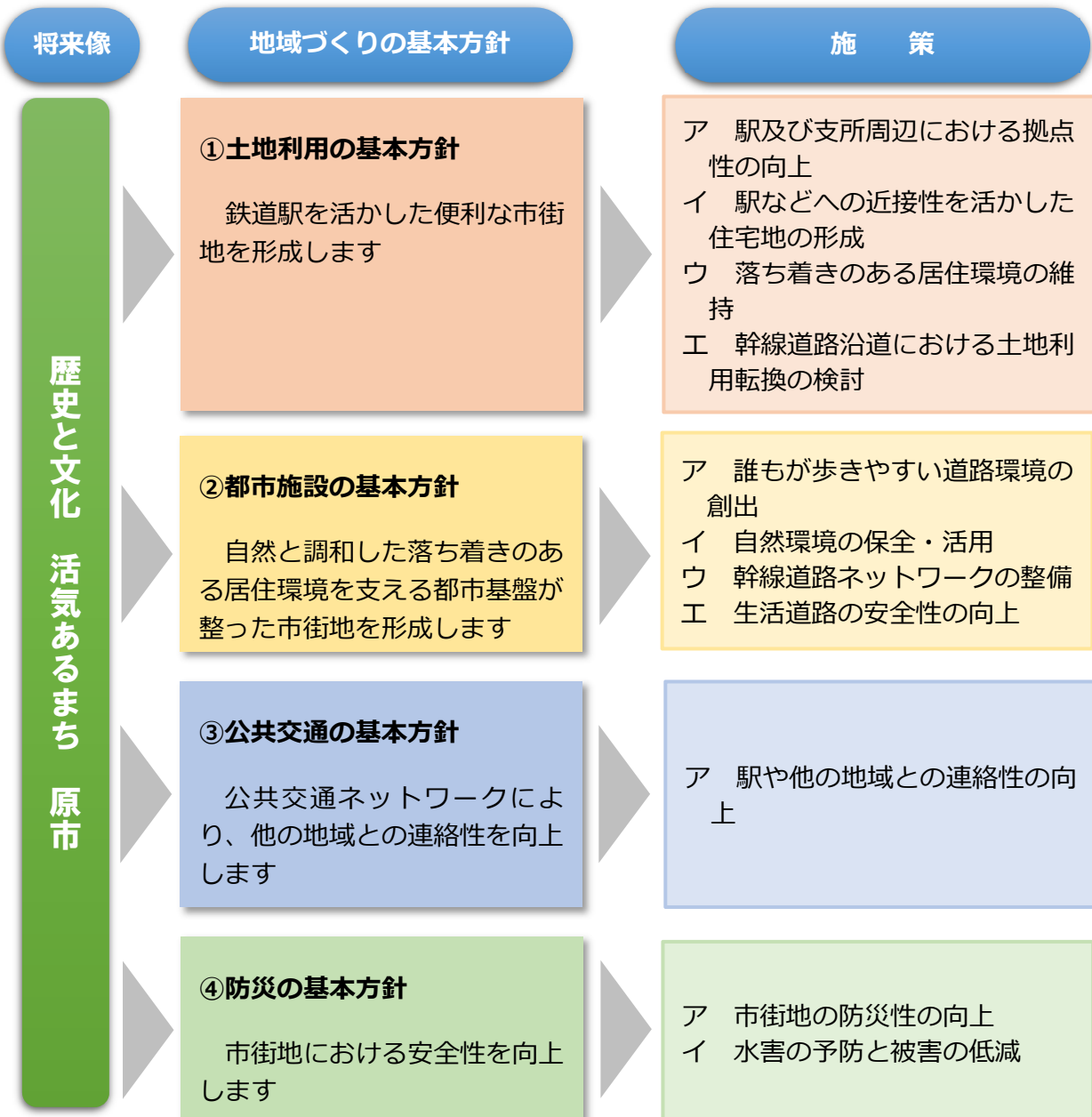
(3) 地域の将来像

歴史と文化 活気あるまち 原市

かつて穀物取引を行う市場町として栄えた歴史文化や原市沼、原市沼川などの自然環境を活かしながら、鉄道や幹線道路の結節点としての交通利便性を活かした、暮らしやすくにぎわいのあるまちの形成を目指し、地域の将来像を『歴史と文化 活気あるまち 原市』とします。

また、地域の将来像を実現するための地域づくりの基本方針を設定します。これらの地域づくりの基本方針に基づき、施策を設定します。

■ 地域づくりの体系



(4) 実現するための施策

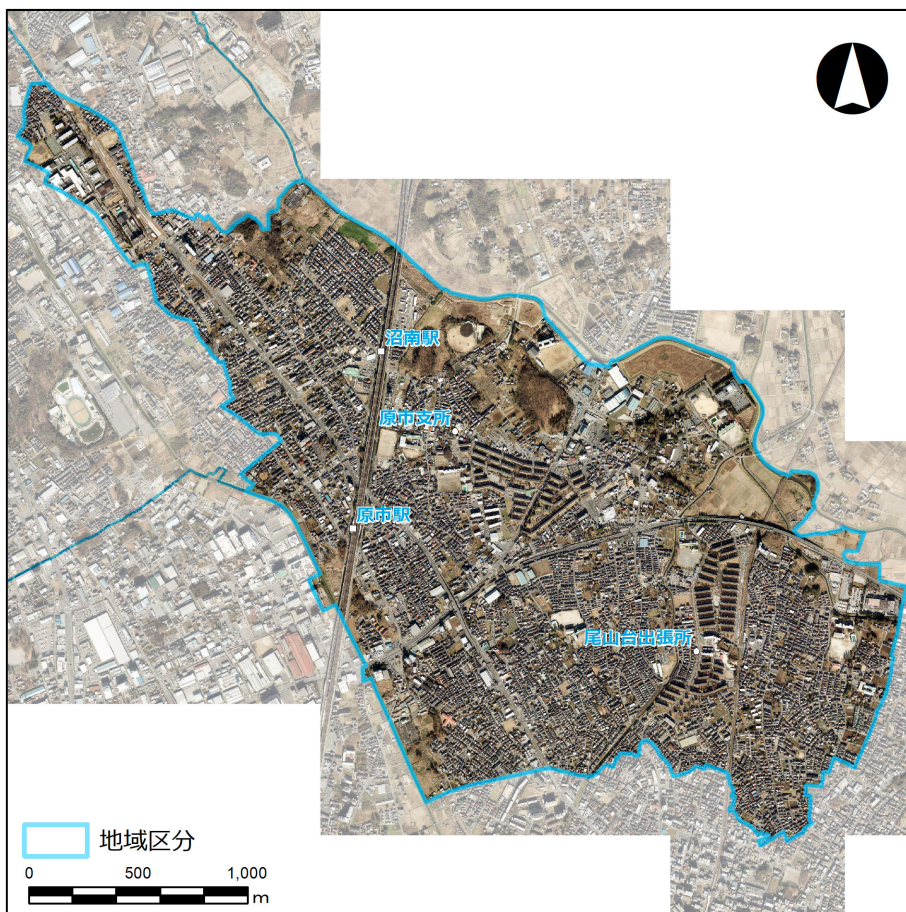
地域づくりの体系を受け、地域の将来像を実現するための施策を以下に示します。

① 土地利用の方針	
施策	主な取り組み
駅及び支所周辺における拠点性の向上 (①-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 原市支所周辺については、周辺住民の利便性を高める行政サービス施設や商業施設、医療施設などの維持・集積を図ります。 ■ 原市駅及び沼南駅周辺については、商業・業務施設などの集積を図ります。
駅などへの近接性を活かした住宅地の形成 (①-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 駅及び支所周辺の街並み形成推進地区については、地区計画などを活用した協働によるまちづくりを推進し、地区内の骨格道路や公園などの都市基盤整備を進めます。
落ち着いたある居住環境の維持 (①-ウ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 空き家・空き地の適正管理と有効活用を促進します。 ■ 原市団地、尾山台団地は、独立行政法人都市再生機構と連携して地域住民や自治会と話し合い、活用に向けて魅力を高めています。
幹線道路沿道における土地利用転換の検討 (①-エ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国道16号東大宮バイパス及び主要地方道さいたま栗橋線の周辺においては、新たな産業の受け皿となる都市的な土地利用への転換を検討します。

② 都市施設の方針	
施策	主な取り組み
誰もが歩きやすい道路環境の創出 (②-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の主要な道路など、住民の利用が多い道路については、歩行環境の改善を進めます。
自然環境の保全・活用 (②-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 原市ふるさとの緑の景観地のほか、原市沼川やその沿岸の斜面林などの良好な自然を市民との協働により保全します。 ■ 生産緑地については、市街地内に残る貴重な緑の空間として、特定生産緑地の指定などにより保全します。 ■ 市街化調整区域の優良農地については、農地が有する多面的な機能を踏まえ、保全に努めます。
幹線道路ネットワークの整備 (②-ウ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市計画道路原市上平線(第二産業道路)の事業中の区間については、早期完成を県に要請します。 ■ 都市計画道路沼南駅停車場線の早期整備を進めます。
生活道路の安全性の向上 (②-エ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活道路については、狭あい道路の拡幅や隅切りの整備を進めます。 ■ 地域要望を踏まえながら、交通安全対策を進めます。

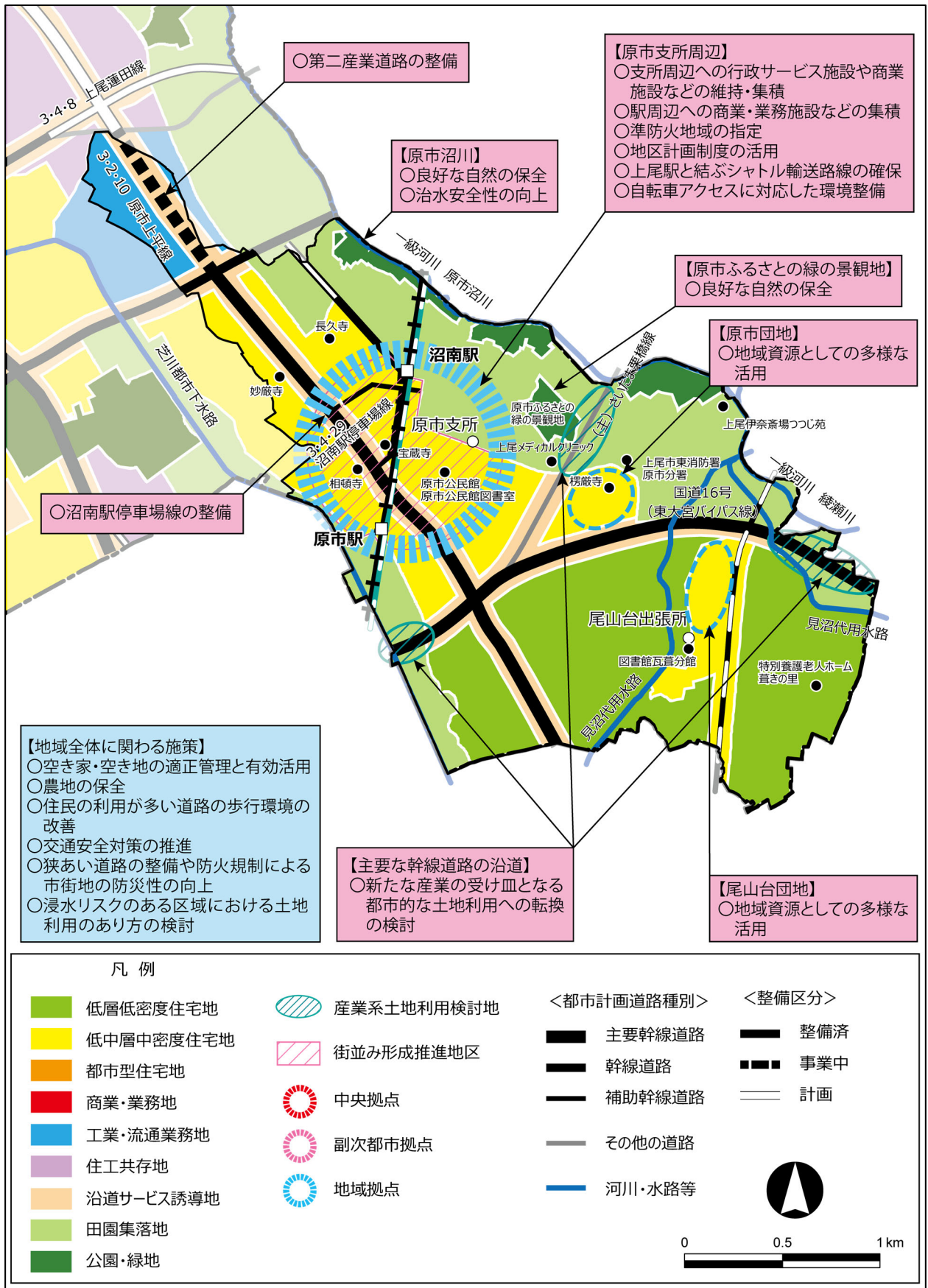
③ 公共交通の方針	
施策	主な取り組み
駅や他の地域との連絡性の向上 (③-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 原市支所周辺については、上尾駅と本地域を結ぶシャトル輸送や地域内を巡回するエリアコミュニティ輸送などの拠点として、交通の結節性を高めます。 ■ サイクル&バスライドを推進するため、自転車アクセスに対応した通行環境や駐輪場などの整備を図ります。

④ 防災の方針	
施策	主な取り組み
市街地の防災性の向上 (④-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 木造建築物が密集する市街地においては、狭あい道路の拡幅や隅切りの整備などを進めます。 ■ 原市駅及び沼南駅周辺については、準防火地域の指定により、建築物の防火性能の向上を図ります。
水害の予防と被害の軽減 (④-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 原市沼川の改修や原市沼の自然や周辺環境に配慮した調節池の整備促進などにより、流域の治水安全性を関係機関と連携して向上させていきます。 ■ 浸水災害のリスクのある区域における土地利用や建築立地のあり方を検討していきます。



<上尾市 航空写真>
(令和2年1月撮影)

図5-7 原市地域のまちづくり方針図



4. 大石地域

(1) 地域の特徴

項目	現 状																										
地域の概況	<p>市域の北西部に位置し、桶川市及び川島町と接しています。地域の東側に JR 高崎線の北上尾駅が位置しています。国道 17 号（上尾道路）が通っています。地域内に荒川、江川、鴨川が流れています。</p>																										
	地域面積	1,224.6ha (26.9%)																									
	市街化区域	584.5ha (23.1%)																									
	人口	54,890 人 (24.4%)																									
	世帯数	22,509 世帯 (24.6%)																									
	人口密度	44.8 人/ha																									
<p>※左表の（ ）内は市全体の数値に占める割合。 ※左表の人口は、年齢不詳を含んだ人数。</p>																											
人口・世帯数	<p>＜人口・世帯数の推移＞</p> <table border="1"> <caption>人口・世帯数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>15歳未満</th> <th>15～64歳</th> <th>65歳以上</th> <th>世帯数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成12年</td> <td>8,673</td> <td>41,012</td> <td>6,178</td> <td>19,467</td> </tr> <tr> <td>平成17年</td> <td>8,249</td> <td>38,235</td> <td>9,300</td> <td>20,797</td> </tr> <tr> <td>平成22年</td> <td>7,595</td> <td>35,481</td> <td>12,454</td> <td>21,960</td> </tr> <tr> <td>平成27年</td> <td>6,722</td> <td>32,530</td> <td>15,124</td> <td>22,509</td> </tr> </tbody> </table>		年次	15歳未満	15～64歳	65歳以上	世帯数	平成12年	8,673	41,012	6,178	19,467	平成17年	8,249	38,235	9,300	20,797	平成22年	7,595	35,481	12,454	21,960	平成27年	6,722	32,530	15,124	22,509
	年次	15歳未満	15～64歳	65歳以上	世帯数																						
平成12年	8,673	41,012	6,178	19,467																							
平成17年	8,249	38,235	9,300	20,797																							
平成22年	7,595	35,481	12,454	21,960																							
平成27年	6,722	32,530	15,124	22,509																							
<p>＜人口密度図＞</p>																											
土地利用	<p>自然的土地利用の割合が高くなっています。住宅用地は、地域東部の市街化区域内に広がっています。国道 17 号（上尾道路）の東側に工業団地があり、工場が集積しています。</p>																										
	<p>＜市全体＞</p> <p>＜大石地域＞</p>																										
主な地域資源	公共公益施設	大石支所、大石公民館、上尾市西消防署、図書館大石分館、上尾市自然学習館																									
	保健・福祉・医療施設	特別養護老人ホーム 上尾ほほえみの杜、特別養護老人ホーム パストーン浅間台																									
	大規模複合商業施設	—																									
	歴史施設	徳星寺、畔吉諏訪神社、昌福寺、天神社、八合神社、東栄寺、殿山古墳																									
	大規模公園・運動施設	浅間台大公園、鴨川中央公園、大宮ゴルフコース、藤波・中分ふるさとの緑の景観地																									
交通	鉄道	—																									
	バス	東武バスウエスト、ぐるっとくん																									
	主要幹線道路	国道 17 号（上尾道路）、主要地方道さいたま鴻巣線、県道上尾環状線																									

第1章 計画の概要

第2章 上尾市の現況特性とまちづくりの課題

第3章 基本構想

第4章 分野別方針

第5章 地域別方針

第6章 計画の推進方針

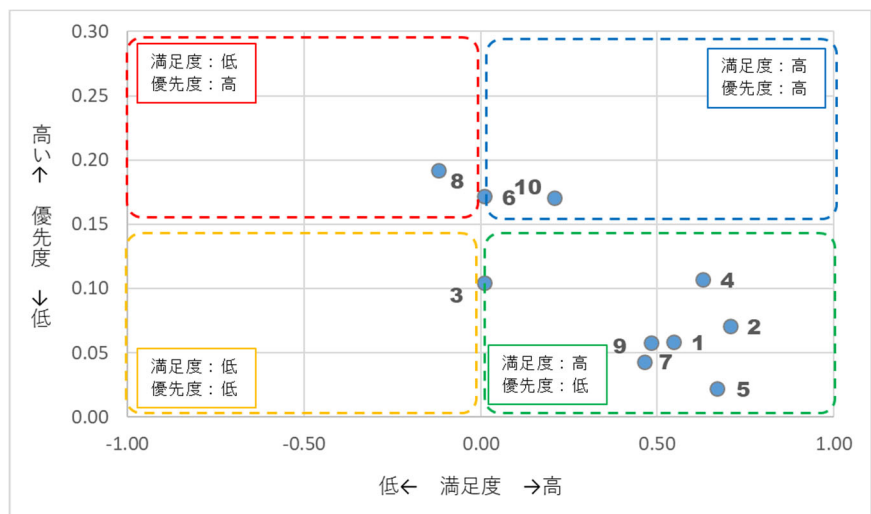
資料編

(2) 地域の声と課題

区分	地域の声	地域づくりの課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○ショッピングセンターが多く、買物などに便利です。 ○大型店ができて地域が発展しているようで、どんどん生活しやすくなっているように感じます。 ○建築協定などで整えられた街並みが気に入っています。 ○新しい家が多く、子どもも増えているので活気があります。 ○自治会活動、防犯活動隊活動、老人会活動などにより、住民参加協力が得られています。 ○空き家が多くなってきています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●大石支所などを中心とした拠点性の向上 ●良好な居住環境の維持 ●市街地における都市的な低未利用地などの計画的な活用 ●幹線道路沿道における土地利用調整
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ○上尾道路ができて、渋滞している時は生活道路が抜け道となるので困ります。 ○北上尾駅にも近く、交通の便が良いと思います。 ○上尾道路ができて、自動車を使っでの移動がととも便利です。 ○市街地から少し離れただけで田園風景が広がる、のんびりとしたところが気に入っています。 ○地域によっては、公園などの公共的なオープンスペースが少ないところがあると思います。 ○開発で田・畑・林がどんどん失われています。なんとか今ある緑を守ってほしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広域的な幹線道路ネットワークの構築 ●生活道路の安全性の向上 ●荒川などの水辺環境、まとまりのある緑の保全・活用 ●田園風景の保全
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○駅から離れた場所に住む高齢者が利用しやすい公共交通が必要ではないでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●駅と地域を連絡する公共交通の利便性の向上
防災	<ul style="list-style-type: none"> ○大雨に対する排水路の整備が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水害の予防、被害の軽減

図5-8 住環境の満足度と今後の取り組みの優先度（大石地域）

- 1 駅の周辺やまちなかのにぎわい
- 2 日常の買い物の利便性
- 3 雇用機会や働く場の充実
- 4 お住まいの周辺の雰囲気や治安の良さ
- 5 自然環境や田園風景の豊かさ
- 6 歩道などの歩行空間の安全性
- 7 幹線道路の利便性
- 8 バスなどの公共交通の利便性
- 9 公園や水辺・親水空間が良好に整備されている
- 10 自然災害などに対する十分な防災対策



出典：平成30年度上尾市市民意識調査

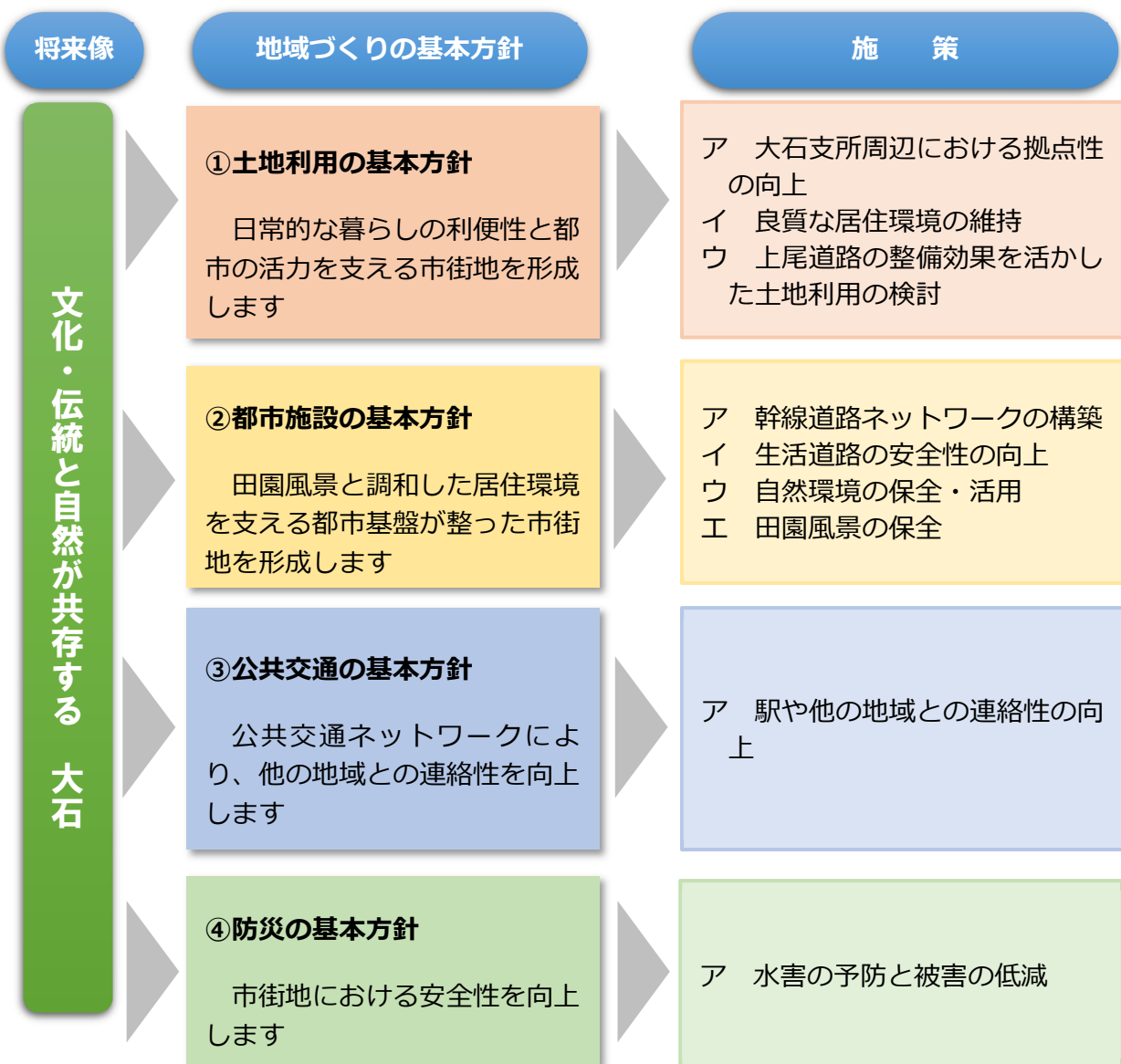
(3) 地域の将来像

文化・伝統と自然が共存する 大石

広域的な幹線道路が整備されたことや、計画的に整備された住宅地や自然に恵まれた田園風景、工業団地などが立地する多彩な特徴を活かし、自然や文化、都市が調和した暮らしやすいまちの形成を目指し、地域の将来像を『文化・伝統と自然が共存する 大石』とします。

また、地域の将来像を実現するための地域づくりの基本方針を設定します。これらの地域づくりの基本方針に基づき、施策を設定します。

■ 地域づくりの体系



(4) 実現するための施策

地域づくりの体系を受け、地域の将来像を実現するための施策を以下に示します。

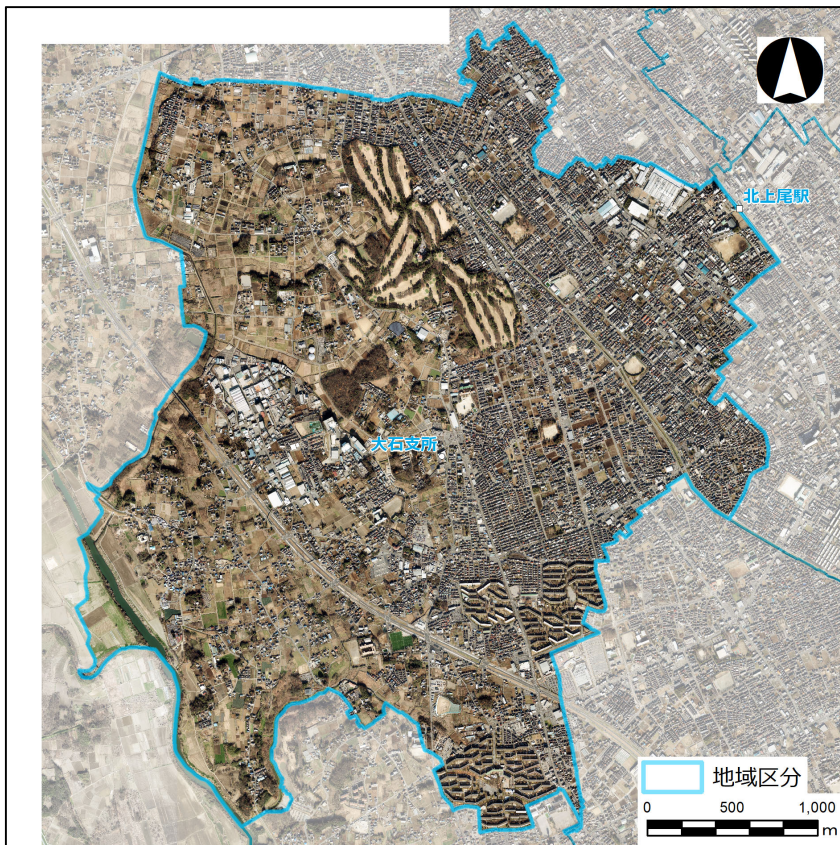
① 土地利用の方針	
施策	主な取り組み
大石支所周辺における拠点性の向上 (①-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大石支所周辺については、周辺住民の利便性を高める行政サービス施設や商業施設、医療施設などの維持・集積を図ります。
良質な居住環境の維持 (①-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大石支所周辺及び北上尾駅周辺の街並み形成推進地区については、地区計画などを活用した協働によるまちづくりを推進し、地区内の骨格道路や公園などの都市基盤整備を進めます。 ■ 西上尾第一団地、西上尾第二団地は、独立行政法人都市再生機構と連携して地域住民や自治会と話し合い、活用に向けて魅力を高めていきます。 ■ 空き家・空き地の適正管理と有効活用を促進します。
上尾道路の整備効果を活かした土地利用の検討 (①-ウ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上尾道路の周辺については、更なる産業の受け皿となる都市的な土地利用への転換を検討します。

② 都市施設の方針	
施策	主な取り組み
幹線道路ネットワークの構築 (②-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高速埼玉中央道路(新大宮上尾道路)の整備を促進します。 ■ 上尾道路の全線四車線化を関係機関に要望します。 ■ 都市計画道路上尾久喜線について、上尾道路までの延伸を検討していきます。 ■ 北上尾駅へのアクセス性を高めるため、都市計画道路北上尾西口線の整備を検討します。
生活道路の安全性の向上 (②-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域要望を踏まえながら、交通安全対策を進めます。
自然環境の保全・活用 (②-ウ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 藤波・中分ふるさとの緑の景観地に代表される雑木林や荒川は、次世代に引き継ぐ貴重な財産として、市民などとの協働により保全します。 ■ 江川周辺に広がる湿地帯の自然は、市民などとの協働により保全に努めます。 ■ 鴨川の遊歩道について、地域との連携により適切な維持管理を進めます。

施策	主な取り組み
田園風景の保全 (②-工)	<ul style="list-style-type: none"> ■生産緑地については、市街地内に残る貴重な緑の空間として、特定生産緑地の指定などにより保全します。 ■市街化調整区域に広がる優良農地については、集落地や雑木林など一体となった良好な田園景観を構成する景観資源であり、また、農地として多面的な機能を有していることを踏まえ、保全に努めます。

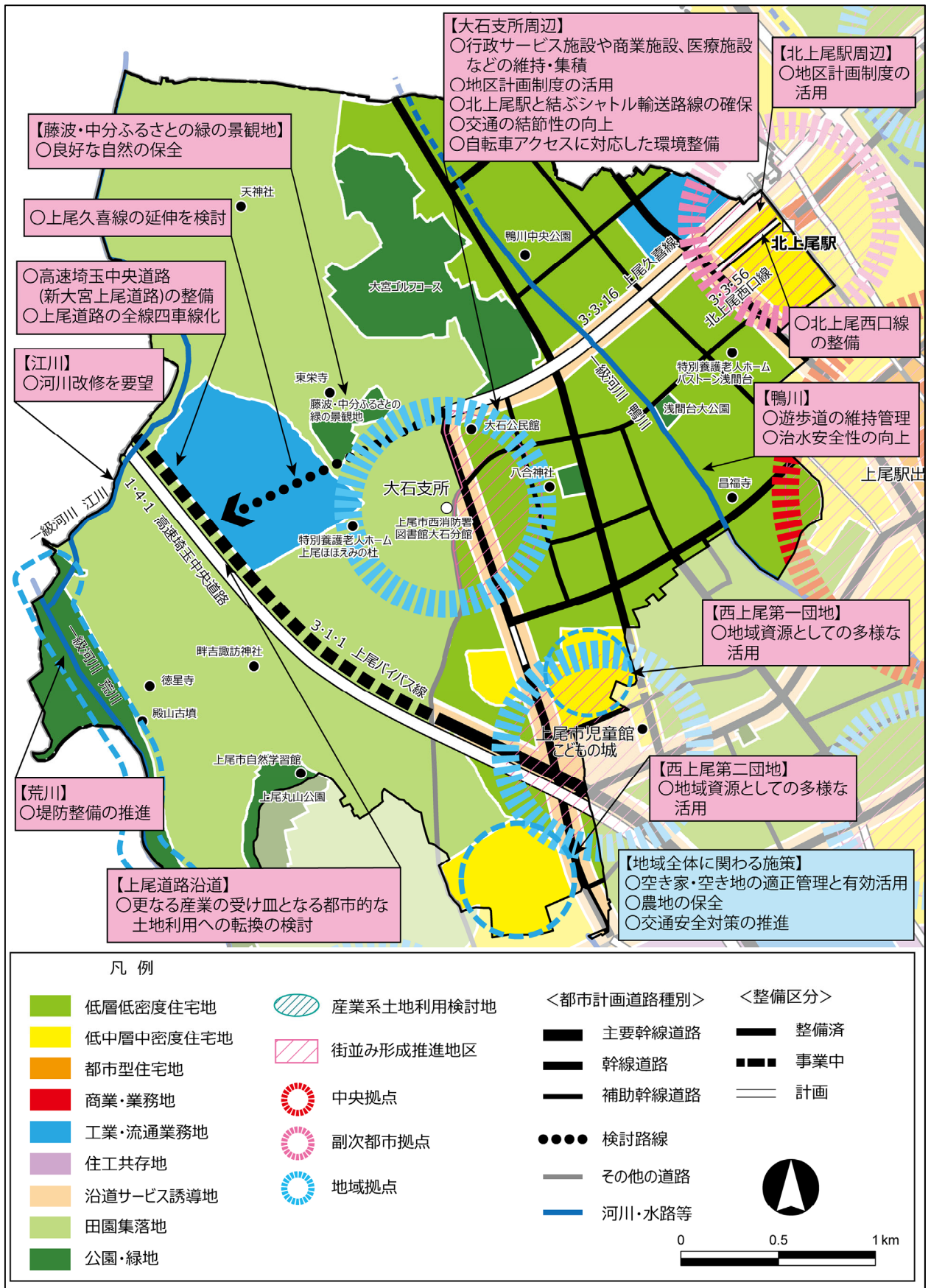
③ 公共交通の方針	
施策	主な取り組み
駅や他の地域との連絡性の向上 (③-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■大石支所周辺については、北上尾駅と本地域を結ぶシャトル輸送や地域内を巡回するエリアコミュニティ輸送などの拠点として、交通の結節性を高めます。 ■サイクル&バスライドを推進するため、自転車アクセスに対応した通行環境や駐輪場などの整備を図ります。

④ 防災の方針	
施策	主な取り組み
水害の予防と被害の軽減 (④-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■荒川の堤防や調節池整備などによる荒川や支流の治水安全性の向上について、関係機関に要望していきます。 ■江川の治水性能を高めるため、河川改修を関係機関に要請します。



<上尾市 航空写真>
(令和2年1月撮影)

図5-9 大石地域のまちづくり方針図



第1章 計画の概要

第2章 上尾市の現状特性とまちづくりの課題

第3章 基本構想

第4章 分野別方針

第5章 地域別方針

第6章 計画の推進方針

資料編

5. 上平地域

(1) 地域の特性

項目	現 状	
地域の概況	<p>市域の北部に位置し、桶川市及び伊奈町と接しています。地域の西側に、JR 高崎線の北上尾駅が位置しています。地域内に原市沼川、芝川が流れています。</p>	
	地域面積	729.0ha (16.0%)
	市街化区域	309.1ha (12.2%)
	人口	30,180人 (13.4%)
	世帯数	11,484世帯 (12.6%)
	人口密度	41.4人/ha
<p>※左表の()内は市全体の数値に占める割合。 ※左表の人口は、年齢不詳を含んだ人数。</p>		
人口・世帯数	<p>＜人口・世帯数の推移＞</p>	
	<p>＜人口密度図＞</p>	
土地利用	<p>住宅用地が地域西部の市街化区域内に広がっており、国道17号の沿道には商業施設が集積しています。農地が地域東部に広がっており、割合が高くなっています。</p>	
	<p>＜市全体＞</p> <p>＜上平地域＞</p>	
主な地域資源	公共公益施設	上平支所、上尾税務署、上尾県税事務所、県央地域振興センター、上平公民館、イコス上尾、上平公民館図書室
	保健・福祉・医療施設	上尾市総合福祉センター、特別養護老人ホームしのかめ、特別養護老人ホーム棕の木、障害者支援施設あげお
	大規模複合商業施設	—
	歴史施設	少林寺、稲荷神社、龍真寺、観蔵院、龍山院、密蔵院、氷川神社
	大規模公園・運動施設	上平公園、平塚公園
交通	鉄 道	—
	バ ス	朝日自動車、けんちゃんバス、ぐるっとくん
	主要幹線道路	国道17号、主要地方道さいたま菖蒲線、主要地方道上尾久喜線、県道上尾環状線

第1章 計画の概要

第2章 上尾市の現況特性とまちづくりの課題

第3章 基本構想

第4章 分野別方針

第5章 地域別方針

第6章 計画の推進方針

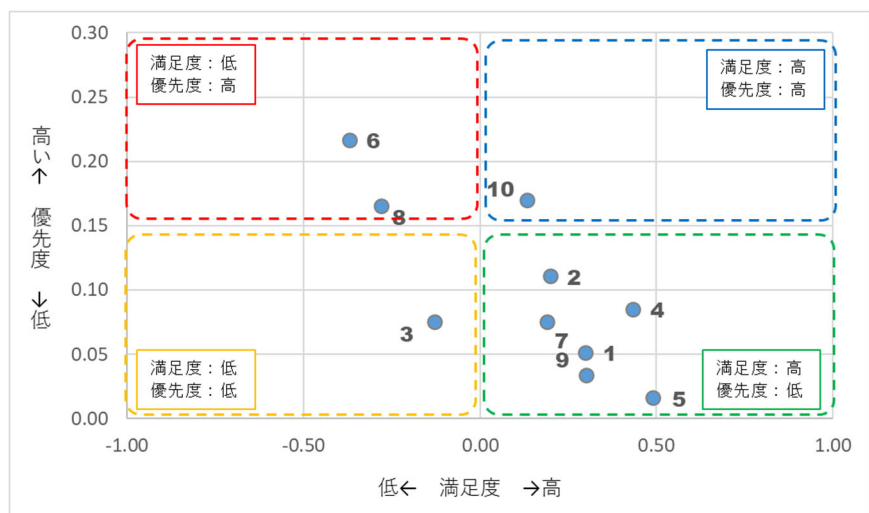
資料編

(2) 地域の声と課題

区分	地域の声	地域づくりの課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパーなどが近くにあって、日用品の買物に困りません。 ○駅から離れた場所にはスーパーや飲食店が少なく、高齢者は不便に感じているのではないのでしょうか。 ○静かな住宅街で、暮らしやすいと感じています。 ○空き家が増えていて、活力が低下しないか気になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●上平支所などを中心とした拠点性の向上 ●落ち着いたある居住環境の維持 ●空き家や空き地の解消 ●多様な世代で構成されるコミュニティの構築 ●幹線道路沿道における土地利用調整
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ○駅に近く、交通の便が良いと思います。 ○北上尾駅に向かう東西方向の道路が足りないように思います。 ○道路が狭い場所では、歩行時に危険を感じ、また消防車などが入りづらくないかという面でも心配です。 ○平塚公園や上平公園など、スポーツできる公園、大きな公園があって良いと思います。 ○子どもが遊べる公園が、もっと身近な場所にあると嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広域的な幹線道路ネットワークの構築 ●生活道路の安全性の向上 ●身近な公園などのオープンスペースの維持・確保 ●良好な自然環境の保全 ●田園風景の保全
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○駅から離れた場所では、自動車がないと買物などの移動が難しく、またコミュニティバスの本数が少ないなど、バスの利用にも不便を感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●駅と地域を連絡する公共交通の利便性の向上
防災	<ul style="list-style-type: none"> ○道路が狭いです。 ○大雨の時に道路が冠水する場所があるので何とかしてほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●狭い道路の解消など、延焼リスクに対する防災性の強化 ●水害の予防、被害の軽減

図5-10 住環境の満足度と今後の取り組みの優先度（上平地域）

- 1 駅の周辺やまちなかのにぎわい
- 2 日常の買い物の利便性
- 3 雇用機会や働く場の充実
- 4 お住まいの周辺の雰囲気や治安の良さ
- 5 自然環境や田園風景の豊かさ
- 6 歩道などの歩行空間の安全性
- 7 幹線道路の利便性
- 8 バスなどの公共交通の利便性
- 9 公園や水辺・親水空間が良好に整備されている
- 10 自然災害などに対する十分な防災対策



出典：平成30年度上尾市市民意識調査

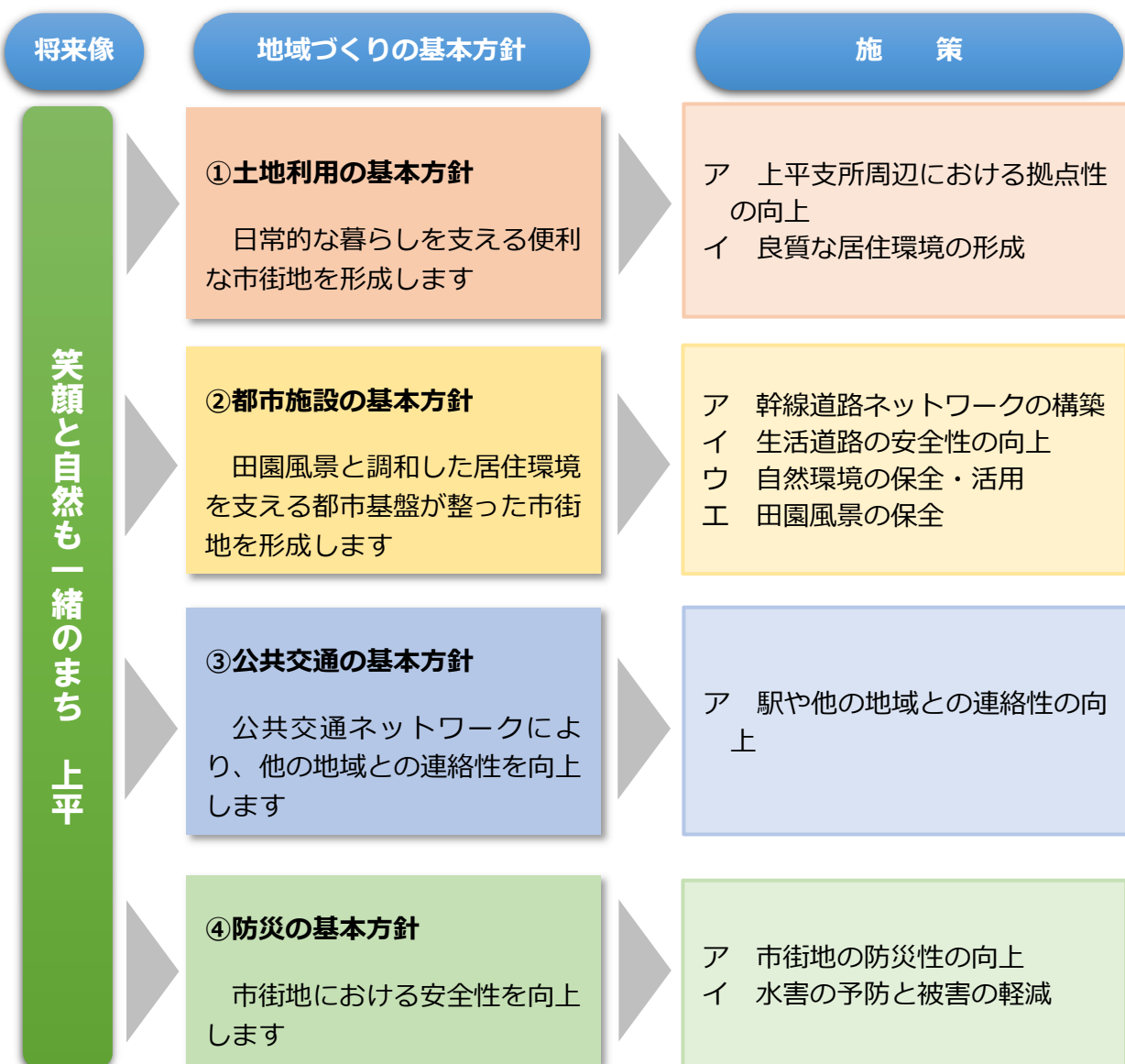
(3) 地域の将来像

笑顔と自然も一緒のまち 上平

原市沼川と沿岸の斜面林やのどかな田園風景、上平公園や平塚公園などの自然環境を活かしながら、誰もが笑顔でやすらぎの感じられる、便利で暮らしやすいまちの形成を目指し、地域の将来像を『笑顔と自然も一緒のまち 上平』とします。

また、地域の将来像を実現するための地域づくりの基本方針を設定します。これらの地域づくりの基本方針に基づき、施策を設定します。

■ 地域づくりの体系



第1章
計画の概要

第2章
上尾市の現況特性とまちづくりの課題

第3章
基本構想

第4章
分野別方針

第5章
地域別方針

第6章
計画の推進方針

資料編

(4) 実現するための施策

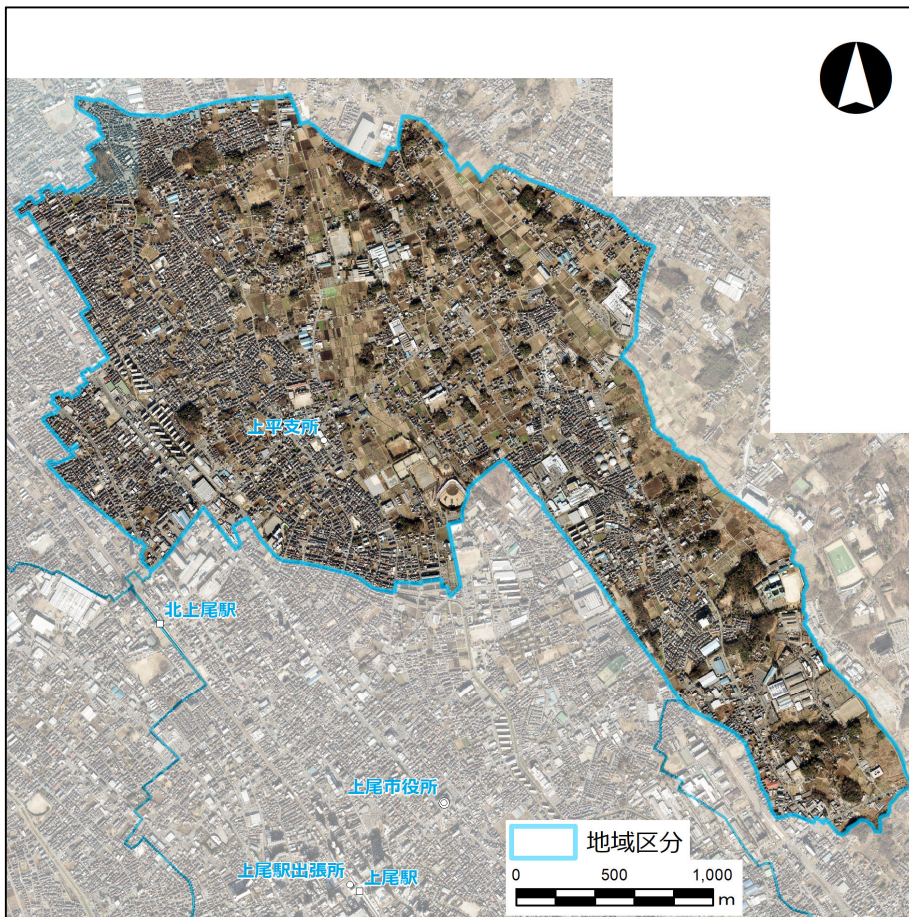
地域づくりの体系を受け、地域の将来像を実現するための施策を以下に示します。

① 土地利用の方針	
施策	主な取り組み
上平支所周辺における拠点性の向上 (①-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上平支所周辺については、周辺住民の利便性を高める行政サービス施設や商業施設、医療施設などの維持・集積を図ります。
良質な居住環境の形成 (①-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上平支所周辺の街並み形成推進地区については、地区計画などを活用した協働によるまちづくりを推進し、地区内の骨格道路や公園などの都市基盤整備を進めます。 ■ 空き家・空き地の適正管理と有効活用を促進します。

② 都市施設の方針	
施策	主な取り組み
幹線道路ネットワークの構築 (②-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第二産業道路の整備を関係機関に要請していきます。 ■ 第二産業道路の整備進捗にあわせて、都市計画道路上尾蓮田線の整備を県に要請します。 ■ 都市計画道路上尾久喜線について、整備を県に要請します。 ■ 伊奈町との広域連携のため、都市計画道路上尾伊奈線の整備を進めます。
生活道路の安全性の向上 (②-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活道路については、狭あい道路の拡幅や隅切りの整備を進めます。 ■ 地域要望を踏まえながら、交通安全対策を進めます。
自然環境の保全・活用 (②-ウ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 原市沼川やその沿岸の斜面林などの良好な自然を市民との協働により保全します。 ■ 上平地域に点在する雑木林や屋敷林、社寺周辺などの緑は、保全に努めます。 ■ 上平公園及び平塚公園は、適正に維持管理します。
田園風景の保全 (②-エ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生産緑地については、市街地内に残る貴重な緑の空間として、特定生産緑地の指定などにより保全します。 ■ 市街化調整区域に広がる優良農地については、集落地や雑木林などと一体となった良好な田園景観を構成する景観資源であり、また、農地として多面的な機能を有していることを踏まえ、保全に努めます。

③ 公共交通の方針	
施策	主な取り組み
駅や他の地域との連絡性の向上 (③-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上平支所周辺については、北上尾駅と本地域を結ぶシャトル輸送や地域内を巡回するエリアコミュニティ輸送などの拠点として、交通の結節性を高めます。 ■ サイクル&バスライドを推進するため、自転車アクセスに対応した通行環境や駐輪場などの整備を図ります。

④ 防災の方針	
施策	主な取り組み
市街地の防災性の向上 (④-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 木造建築物が密集する市街地においては、狭あい道路の拡幅や隅切りの整備などを進めます。
水害の予防と被害の軽減 (④-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 豪雨時の雨水処理能力を高めるなど、内水による浸水被害の予防・軽減策に取り組みます。 ■ 原市沼川の治水性能を高めるため、河川改修を推進します。



<上尾市 航空写真>
(令和2年1月撮影)

図5-11 上平地域のまちづくり方針図



6. 大谷地域

(1) 地域の特性

項目	現 状																										
地域の概況	<p>市域の南部に位置し、地域南端でさいたま市と接しています。国道17号（上尾道路）が通っています。地域内に鴨川が流れています。</p>																										
	地域面積	677.6ha (14.9%)																									
	市街化区域	475.4ha (18.8%)																									
	人口	28,989人 (12.9%)																									
	世帯数	11,343世帯 (12.4%)																									
	人口密度	42.8人/ha																									
	<p>※左表の（ ）内は市全体の数値に占める割合。 ※左表の人口は、年齢不詳を含んだ人数。</p>																										
人口・世帯数	<p>＜人口・世帯数の推移＞</p> <table border="1"> <caption>人口・世帯数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>15歳未満</th> <th>15～64歳</th> <th>65歳以上</th> <th>世帯数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成12年</td> <td>3,916</td> <td>19,384</td> <td>2,576</td> <td>8,949</td> </tr> <tr> <td>平成17年</td> <td>4,014</td> <td>19,294</td> <td>3,774</td> <td>9,894</td> </tr> <tr> <td>平成22年</td> <td>3,891</td> <td>18,523</td> <td>5,298</td> <td>10,458</td> </tr> <tr> <td>平成27年</td> <td>3,875</td> <td>18,124</td> <td>6,846</td> <td>11,343</td> </tr> </tbody> </table>		年	15歳未満	15～64歳	65歳以上	世帯数	平成12年	3,916	19,384	2,576	8,949	平成17年	4,014	19,294	3,774	9,894	平成22年	3,891	18,523	5,298	10,458	平成27年	3,875	18,124	6,846	11,343
	年	15歳未満	15～64歳	65歳以上	世帯数																						
平成12年	3,916	19,384	2,576	8,949																							
平成17年	4,014	19,294	3,774	9,894																							
平成22年	3,891	18,523	5,298	10,458																							
平成27年	3,875	18,124	6,846	11,343																							
	<p>＜人口密度図＞</p>																										
土地利用	<p>住宅用地や商業用地、工業用地などの都市的土地利用の割合が全地域の中で3番目に割合が高くなっています。国道17号（上尾道路）沿いに大規模な工場、商業施設が立地しています。</p>																										
	<p>＜市全体＞</p>	<p>＜大谷地域＞</p>																									
主な地域資源	公共公益施設	大谷支所、大谷公民館、西消防署大谷分署、大谷公民館図書室																									
	保健・福祉・医療施設	上尾市児童館こどもの城、特別養護老人ホーム四季の郷 上尾																									
	大規模複合商業施設	アリオ上尾																									
	歴史施設	愛宕神社、神明神社、十連寺、西光寺、向山不動堂																									
	大規模公園・運動施設	戸崎公園、上尾市民体育館、大宮花の丘農林公苑																									
交通	鉄 道	—																									
	バ ス	東武バスウエスト、ぐるっとくん																									
	主要幹線道路	国道17号（上尾道路）、主要地方道川越上尾線、県道大谷本郷さいたま線																									

第1章 計画の概要

第2章 上尾市の現況特性とまちづくりの課題

第3章 基本構想

第4章 分野別方針

第5章 地域別方針

第6章 計画の推進方針

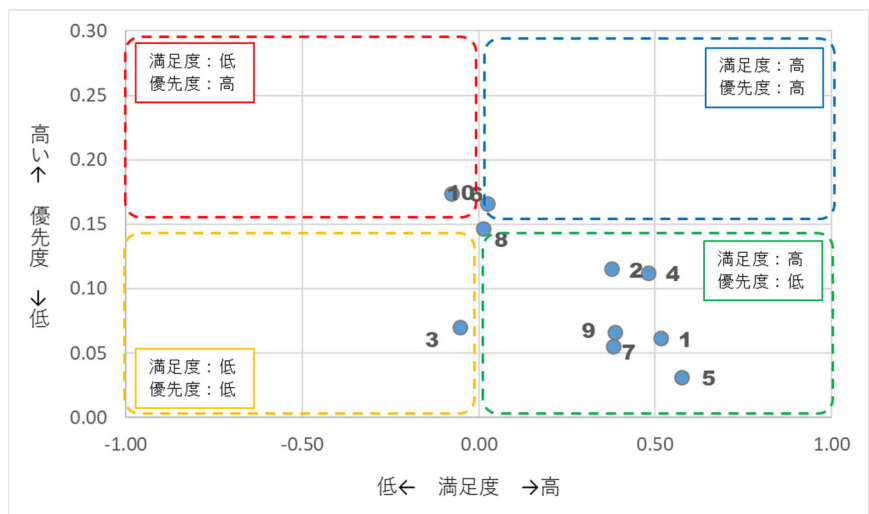
資料編

(2) 地域の声と課題

区分	地域の声	地域づくりの課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパー、コンビニなどに近く、買物がとても便利です。 ○駅にも歩いて行けることが魅力だと思います。 ○大型店は増えましたが、身近な商店がなくなって不便だし、寂しい気がします。 ○落ち着いた雰囲気のある、暮らしの場にふさわしいまちだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●こどもの城を中心とした市西部の拠点の形成 ●大谷支所などを中心とした拠点性の向上 ●落ち着いたある居住環境の維持 ●土地区画整理事業による宅地供給 ●多様な世代で構成されるコミュニティの構築 ●幹線道路沿道における土地利用調整
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ○上尾道路ができたのは良いけど、最近、道路の混雑が目立ちはじめているように感じます。 ○道路が狭く、歩道の整備が不足しているところがあり、歩いている時などの安全面で心配です。 ○身近な公園など、子供たちにとっても遊び場がたくさんあって良いと思います。 ○川の中が草でいっぱい汚いので、コイやカメがかわいそう。 ○住宅が増えて自然が少なくなっているのが残念です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広域的な幹線道路ネットワークの構築 ●生活道路の安全性の向上 ●鴨川の水辺、まとまりのある緑の保全・活用 ●田園風景の保全
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○交通の便が良く、上尾道路ができてさらに便利になったと感じます。 ○バスを利用するときも便利だと思います。 ○終バスの時間が早いので、改善できないでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●上尾駅と地域を連絡する公共交通の利便性の向上
防災	<ul style="list-style-type: none"> ○鴨川が氾濫しないか心配です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水害の予防、被害の軽減

図5-12 住環境の満足度と今後の取り組みの優先度（大谷地域）

- 1 駅の周辺やまちなかのにぎわい
- 2 日常の買い物の利便性
- 3 雇用機会や働く場の充実
- 4 お住まいの周辺の雰囲気や治安の良さ
- 5 自然環境や田園風景の豊かさ
- 6 歩道などの歩行空間の安全性
- 7 幹線道路の利便性
- 8 バスなどの公共交通の利便性
- 9 公園や水辺・親水空間が良好に整備されている
- 10 自然災害などに対する十分な防災対策



出典：平成30年度上尾市市民意識調査

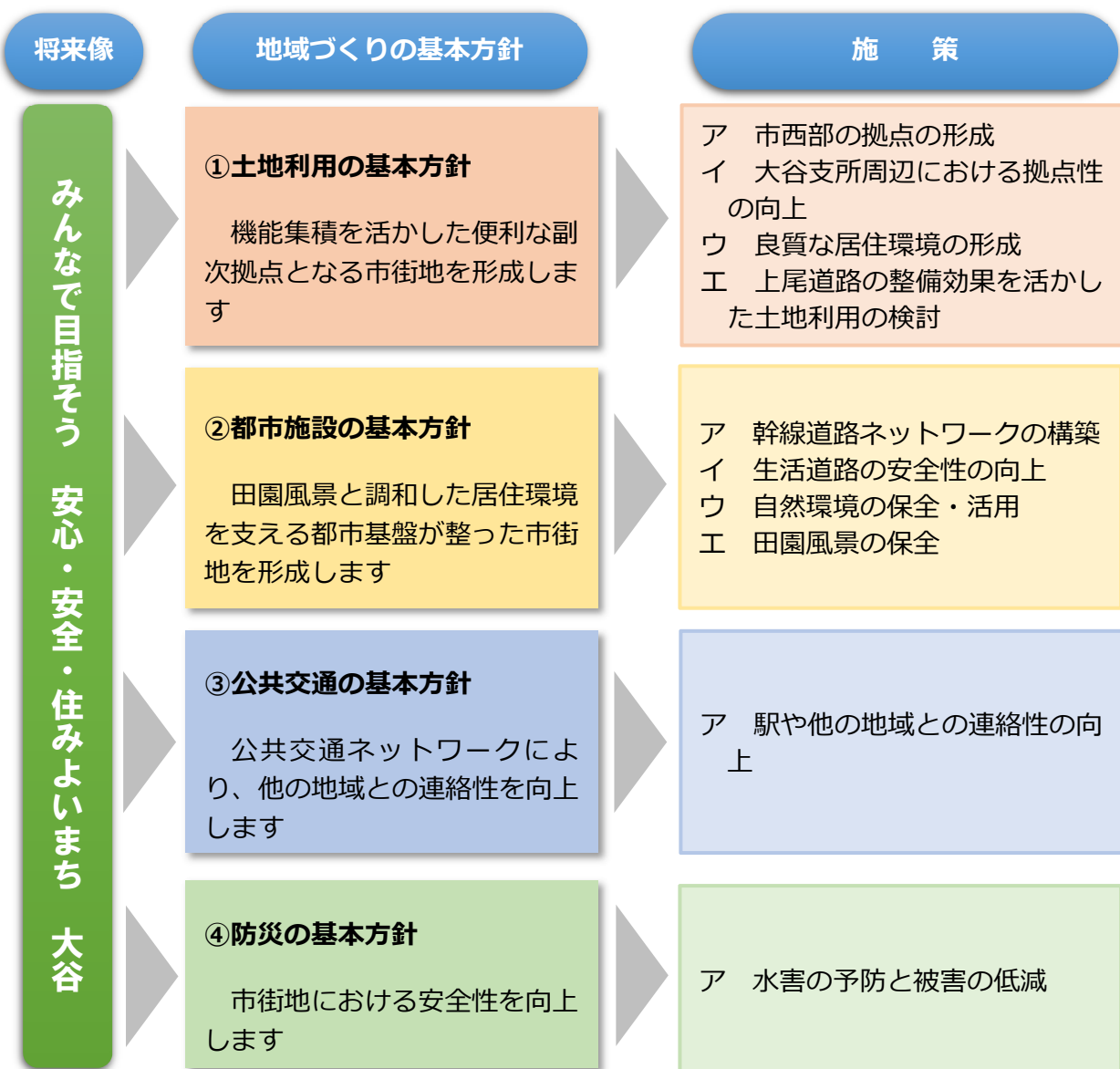
(3) 地域の将来像

みんなで目指そう 安心・安全・住みよいまち 大谷

上尾駅に近接する立地条件や上尾道路などによる道路交通、立地が進む商業施設などの利便性を活かしながら、暮らしの安全や安心が感じられる暮らしやすいまちの形成を目指し、地域の将来像を『**みんなで目指そう 安心・安全・住みよいまち 大谷**』とします。

また、地域の将来像を実現するための地域づくりの基本方針を設定します。これらの地域づくりの基本方針に基づき、施策を設定します。

■地域づくりの体系



(4) 実現するための施策

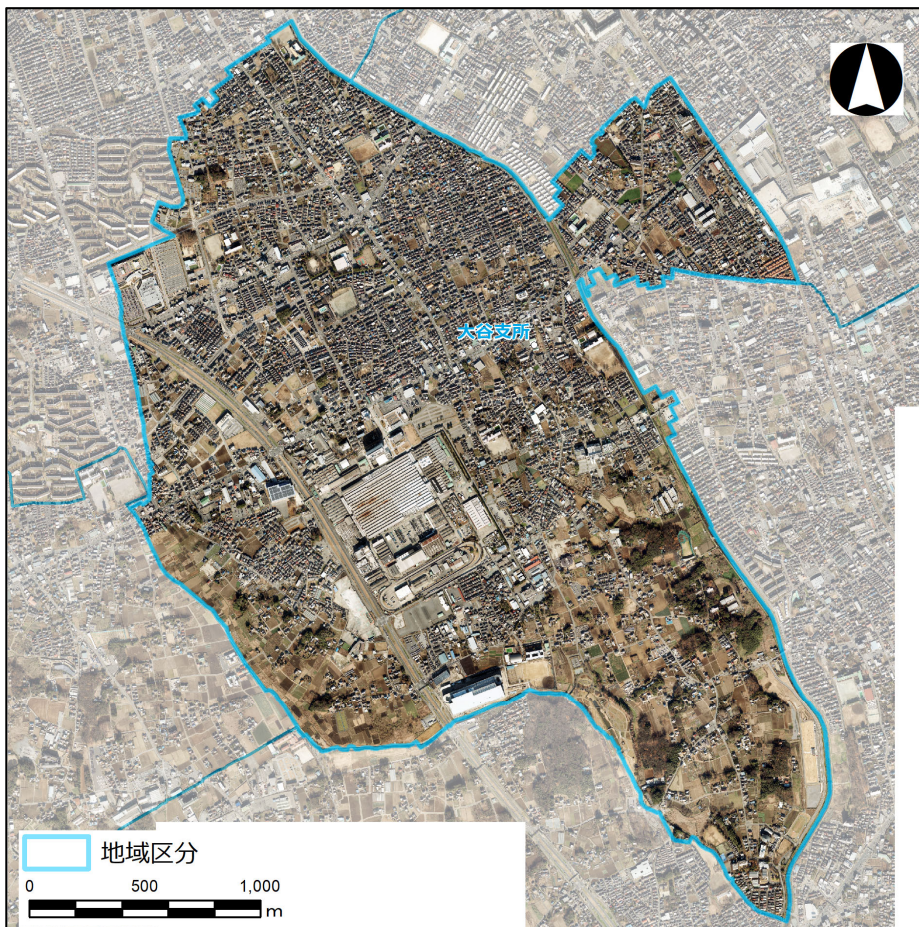
地域づくりの体系を受け、地域の将来像を実現するための施策を以下に示します。

① 土地利用の方針	
施策	主な取り組み
市西部の拠点の形成 (①-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■西部拠点については、広域交流の要となる拠点として、大規模複合商業施設や公共施設などの維持・集積を図ります。
大谷支所周辺における拠点性の向上 (①-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■大谷支所周辺については、周辺住民の利便性を高める行政サービス施設や商業施設、医療施設などの維持・集積を図ります。
良質な居住環境の形成 (①-ウ)	<ul style="list-style-type: none"> ■大谷北部第二土地区画整理事業については、適切な土地利用の誘導と良好な都市基盤施設を確保するため、引き続き事業の推進を図ります。 ■大谷支所周辺及びこどもの城周辺の街並み形成推進地区においては、地区計画などを活用した協働によるまちづくりを推進し、地区内の骨格道路や公園などの都市基盤整備を進めます。
上尾道路の整備効果を活かした土地利用の検討 (①-エ)	<ul style="list-style-type: none"> ■上尾道路の周辺については、新たな産業の受け皿となる都市的な土地利用への転換を検討します。

② 都市施設の方針	
施策	主な取り組み
幹線道路ネットワークの構築 (②-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■高速埼玉中央道路(新大宮上尾道路) 及び(仮称)上尾南インターチェンジの整備を促進します。 ■上尾道路は全線四車線化を関係機関に要望します。
生活道路の安全性の向上 (②-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■地域要望を踏まえながら、交通安全対策を進めます。 ■生活道路については、狭あい道路の拡幅や隅切りの整備を進めます。
自然環境の保全・活用 (②-ウ)	<ul style="list-style-type: none"> ■鴨川及び浅間川は、市街地の貴重な水辺環境として適切な維持管理を推進します。 ■地域南部に点在する雑木林や屋敷林、社寺周辺などの緑は、保全に努めます。
田園風景の保全 (②-エ)	<ul style="list-style-type: none"> ■生産緑地については、市街地内に残る貴重な緑の空間として、特定生産緑地の指定などにより保全します。 ■地域南部の市街化調整区域に広がる農地については、農地として多面的な機能を有していることを踏まえ、保全に努めます。

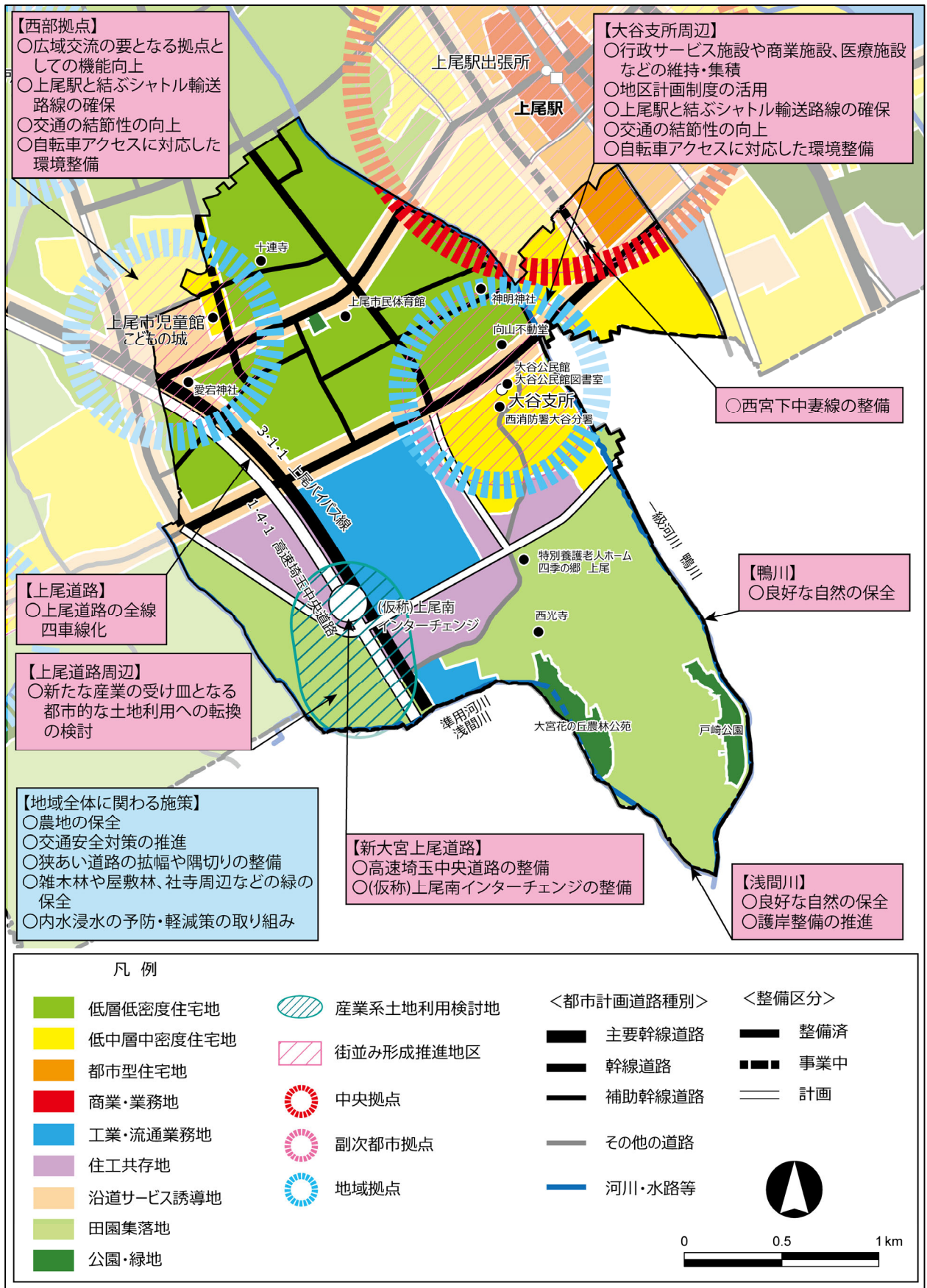
③ 公共交通の方針	
施策	主な取り組み
駅や他の地域との連絡性の向上 (③-ア)	<ul style="list-style-type: none"> ■西部拠点及び大谷支所周辺については、上尾駅と本地域を結ぶシャトル輸送や地域内を巡回するエリアコミュニティ輸送などの拠点として、交通の結節性を高めます。 ■サイクル&バスライドを推進するため、自転車アクセスに対応した通行環境や駐輪場などの整備を図ります。

④ 防災の方針	
施策	主な取り組み
水害の予防と被害の軽減 (④-イ)	<ul style="list-style-type: none"> ■豪雨時の雨水処理能力を高めるなど、内水浸水の予防・軽減策に取り組みます。 ■浅間川の治水性能を高めるため、護岸整備を進めます。



<上尾市 航空写真>
(令和2年1月撮影)

図5-13 大谷地域のまちづくり方針図



第1章 計画の概要

第2章 上尾市の現況特性とまちづくりの課題

第3章 基本構想

第4章 分野別方針

第5章 地域別方針

第6章 計画の推進方針

資料編